

# Cisco Webex クラウド サービス v3

最終更新日: 2018 年 5 月 30 日

## デモンストレーションについて

この **Cisco Webex** デモンストレーションの内容は次のとおりです。

- [要件](#)
- [このソリューションについて](#)
- [トポロジ](#)
- [セッション ユーザ](#)
- [はじめに: Cisco Webex トライアル事前設定](#)
- [シナリオ 1: Cisco Webex デスクフォン](#)
- [シナリオ 2: Cisco Webex Room デバイス](#)
- [シナリオ 3: Cisco Webex モバイル アプリ](#)
- [シナリオ 4: Cisco Webex Teams の機能](#)
- [シナリオ 5: Cisco Webex Board](#)
- [シナリオ 6: Cisco Webex の通話機能](#)
- [シナリオ 7: Cisco Care](#)
- [シナリオ 8: Pro Pack for Cisco Webex Control Hub](#)
- [付録 A: Cisco Webex パスワードのリセット](#)
- [付録 B: AD FS 設定による SSO](#)
- [付録 C: Directory Connector](#)

## 要件

次の表に、本デモンストレーションに必要な要件の概要を示します。

表 1. デモンストレーションの要件

必須	オプション
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco AnyConnect VPN Client</li> <li>• ラップトップと以下のビデオ対応エンドポイント(デバイスでデモンストレーションを行う場合):               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Cisco Webex DX/SX/Board/Room 55/77/Room Kit (ルーム デバイス) 1 台</li> <li>○ Cisco IP Phone 7800 または 8800 シリーズ 2 台</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネットに接続されたルータ。Webex 用のクラウド電話を使用する場合、必要なのはインターネット アクセスのみで、dCloud ルータは必要ありません。</li> </ul>

## このソリューションについて

### Cisco Webex Teams の概要

Cisco Webex は、完結したコラボレーション スイートを提供するアプリケーション セン트リックなクラウドベースのサービスです。チームは同じ場所においても、離れていても、作成、会議、メッセージング、通話、ホワイトボードの利用、共有を行うことができます。これにより、会議前、会議中、会議後で統合された継続的なワークストリームが実現します。Cisco Webex は、チームのシームレスな連携を実現するために作られました。仕事の質を高める、シンプル、セキュア、かつオープンな、完結したサービスです。

コミュニケーションは迅速でモバイルに対応し、コラボレーティブでなければなりません。これはすべて、インフラストラクチャとアプリケーションにおいて進化する技術革新とモバイル デバイスによるものです。Cisco Webex サービスは、業界をリードするコミュニケーション ツールを緊密に統合して、瞬時のコミュニケーションとリアルタイムの会議を可能にし、これまでにないコラボレーション体験を実現します。こうしたメリットを提供できるのは、Cisco® Cloud のみです。

### チームワークを促進するためのツール

**メッセージングとコンテンツ シェアリング:** チームとスペースを利用して、簡単につながることができます。メッセージ送信、会議、ファイル共有、ホワイトボード機能により、電子メールやインスタント メッセージを追いかける時間が短縮され、仕事に集中できます。

**チームベースの会議:** 生産性が最大になります。スペース内では誰でも会議のスケジュール設定、開始、記録ができます。ゲストを簡単に追加し、最大 75 人のビデオ ユーザに対応できます。会議後も、接続されたワークスペースで作業を継続できます。

**ホワイトボード:** アプリでスケッチを共有できます。また Cisco Webex Board のオールインワン ワイヤレス プレゼンテーション、デジタル ホワイトボード、ビデオ会議によって、Cisco Webex Teams の機能をさらに高めることも可能です。

**通話:** アプリ、IP 電話、または会議室用ビデオ デバイスで、どこでも通話ができます。Cisco Webex Calling でクラウドに導入することも、オンプレミスまたはパートナーがホストするテレフォニー サービスに接続することも可能です。

**統合およびボット:** Webex Teams でつながることで、限られたシステムとアプリでの運用が可能になります。統合機能によりワークフローを合理化し、ボットでアクションを自動化できます。詳細については、[Webex App Hub](#) [英語] を参照してください。

## 主な製品



### Cisco Webex Board

ワイヤレス プレゼンテーション、デジタル ホワイトボードそしてビデオ会議の各機能を単一 デバイスに統合します。



### Cisco Webex Room Kit

小～中規模の会議室でインテリジェントなビデオ と音声のコミュニケーションを実現できます。



### Salesforce の統合

Webex 機能を Salesforce 内で使用できます。フェイスツーフェイスの接続、情報の共有、会議の設定にスイッチング アプリはもう必要ありません。

## セキュリティおよび管理



### セキュリティおよびプライバシー

業界をリードするエンドツーエンドの暗号化により、メッセージとデータのセキュリティが常に確保されます。



### コンプライアンス

セキュリティ チームは、法律およびコンプライアンスに関する要件に対応しながら、情報セキュリティポリシーに適合することができます。



### 管理および分析

Cisco Webex Control Hub では、ダッシュボードを利用してサービスを完全に可視化し、制御できます。

## トポロジ

このデモンストレーションでは、サーバとして仮想マシンを数台使用します。ほとんどのサーバは、管理者レベルのアカウントを使うことで自由に設定できます。管理者アカウントの詳細については、関連する手順およびサーバ詳細表で説明しています。

図 1. トポロジ概要



表 2. サーバの詳細

名前	説明	ホスト名 (FQDN)	IP アドレス	ユーザ名	パスワード
AD1	Active Directory、DNS、AD FS	ad1.dcloud.cisco.com	198.18.133.1	administrator	C1sco12345
Exchange	Microsoft Exchange 2016	mail1.dcloud.cisco.com	198.18.133.2	administrator	C1sco12345
Workstation 1	Windows 10	wkst1.dcloud.cisco.com	198.18.1.36	cholland	C1sco12345
Workstation 2	Windows 10	wkst2.dcloud.cisco.com	198.18.1.37	aperez	C1sco12345

## セッション ユーザ

表 3. デモンストレーション ユーザ情報

ユーザ名	ユーザ ID	Windows パスワード	Webex パスワード	DN	エンドポイント端末
Charles Holland	cholland	C1sco12345	dCloud123!	5018	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Anita Perez	aperez	C1sco12345	dCloud123!	5017	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Kellie Melby	kmelby	C1sco12345	dCloud123!	5050	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Taylor Bard	tbard	C1sco12345	dCloud123!	5026	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Eric Steele	esteele	C1sco12345	dCloud123!	5099	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Rebekah Barretta	rbarretta	C1sco12345	dCloud123!	5088	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Ricardo Filice	rfilice	C1sco12345	dCloud123!	5083	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Stefan Mauk	smauk	C1sco12345	dCloud123!	5072	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Monica Cheng	mcheng	C1sco12345	dCloud123!	5020	Cisco 7800 または 8800 シリーズ

## はじめに

### デモンストレーションの前に

実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、このプロセスを少なくとも 1 回は実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとデモンストレーションの構成に慣れることができます。

**お客様向けプレゼンテーションを成功させるためには、入念な準備が不可欠です。**

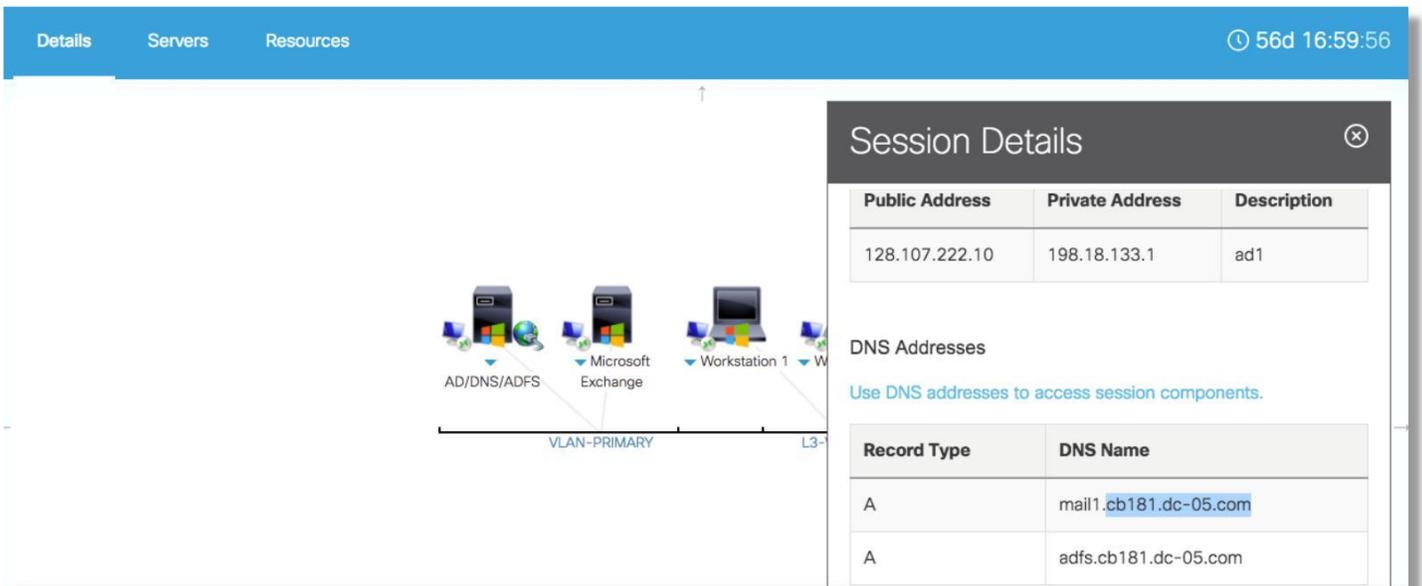
次の手順に従ってデモンストレーションのスケジュールを組み、デモンストレーション環境を設定します。

1. dCloud セッションを開始します。[\[手順を見る\]](#)

**注:**セッションがアクティブになるまで、一般的に約 **8 ~ 10 分** かかります。ただし、セッションを使用する前に、[Webex のデモのセットアップが完了しました (THE Webex DEMO SETUP IS COMPLETE)] という件名の電子メールが Charles Holland の電子メール アカウントにあることを確認します。これは、すべてのクラウド サービスのセットアップ スクリプトが実行されたことを示します。

2. [表示 (View)] をクリックして、アクティブ セッションを開きます。
3. **ラップトップに Cisco AnyConnect** をインストールし、dCloud ユーザ インターフェイスで表示される AnyConnect クレデンシャルを使用して、アクセスします。[\[手順を見る\]](#)
4. スタンドアロンのラップトップまたは他のデバイスからセッションに直接接続します。
  - **推奨方法: Cisco AnyConnect** [\[手順を見る\]](#) およびラップトップのローカル RDP クライアントを使用します。
  - **Windows ユーザ:** 各仮想マシンに接続を保存する場合、いずれかのバージョンの Remote Desktop Manager を使用することをお勧めします。マネージャの例としては、Microsoft の **Remote Desktop Connection Manager** (<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=44989> [英語]) があります。

- **Mac ユーザ:** 仮想マシンに接続するには、**Microsoft Remote Desktop (MRD)** [  ] または **CoRD** [  ] アプリケーションを使用することをお勧めします。MRD は、Mac App Store から無料でダウンロードできます。CoRD は <http://cord.sourceforge.net/> [英語] から無料でダウンロードできます。どちらかのアプリケーションを使用することで、各仮想マシンの接続を保存できます。
5. デモンストレーションでは、Phone OS v11.0.1 以降を使用するために 7800/8800 電話が必要になります。講師がいる場合は、講師が適切なファームウェアを電話にインストールしているはずですが、<http://upgrade.cisco.com/> [英語] を使用するとアップグレードプロセスに役立ちます。
  6. ルーム デバイスでも CE8.3.4 以降のファームウェアが必要になります。ルーム デバイスを更新する必要がある場合は、cisco.com から .pkg ファイルをダウンロードして、デバイスを直接アップグレードできます。<http://upgrade.cisco.com/> [英語] を使用するとアップグレードプロセスに役立ちます。
  7. デバイスに正しいファームウェアが適用されていることを確認したら、開始する前に、各デバイスで初期設定へのリセットを実行します。
  8. 最良の結果を得るために、Web ブラウザには Firefox または Chrome を使用してください。
  9. 各ユーザのパスワードは、スタートアップ時にデモスクリプトを使用して **dCloud123!** に設定しておく必要があります。場合によっては、ユーザの電子メールが設定されないことがあります。その場合ユーザは、手動でパスワードをリセットする必要があります。この説明については、[付録 A](#) を参照してください。Webex の基本認証を使用しない場合は、必要に応じてシングル サインオン (SSO) を設定できます。SSO を有効にする手順については、[付録 B](#) を参照してください。
  10. このデモンストレーションを実行するには、dCloud のセッション ページにある、[セッションの詳細 (Session Details)] タブの Collaboration Edge ドメイン情報が必要になります。各クライアントは固有のドメインを使用します。次の図は 1 つの例を示しています。実際のセッションで図の情報は使用しないでください。この情報をガイド全体で参照できるようにメモしておきます。dCloud では、「**collabedge-XXX.dc-YY.com**」または「**cbXXX.dc-YY.com**」の 2 つのドメイン形式を使用できます。



The screenshot displays the dCloud interface with a network diagram and a 'Session Details' panel. The network diagram shows a 'VLAN-PRIMARY' connected to 'L3-1', with components 'AD/DNS/ADFS', 'Microsoft Exchange', and 'Workstation 1'. The 'Session Details' panel includes a table with the following data:

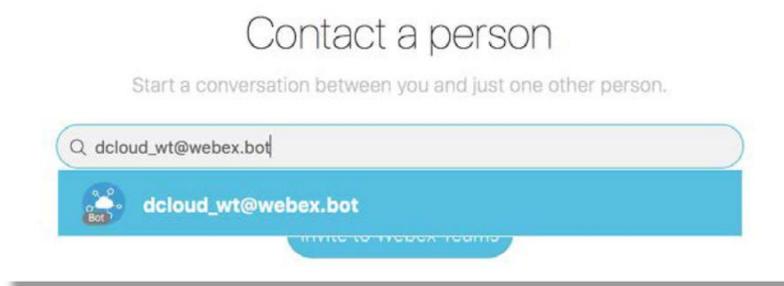
Public Address	Private Address	Description
128.107.222.10	198.18.133.1	ad1

Below the table, there is a section for 'DNS Addresses' with the instruction: 'Use DNS addresses to access session components.' This section contains another table:

Record Type	DNS Name
A	mail1.cb181.dc-05.com
A	adfs.cb181.dc-05.com

11. **dCloud Webex デモ ボット**: デバイスをより迅速かつ簡単に登録できるように、このデモには dCloud Webex デモ ボットが付属しています。このボットでは、Kellie と Taylor の 7800/8800 エンドポイント用のデバイス コードと 2 つのルーム デバイス用のコードが作成されます。デバイスを手早く登録するには、次の手順を実行します。

- 前の手順に示すように、セッションに割り当てられているドメインを取得します。
- `dcloud_wt@webex.bot` を検索して、dCloud Webex デモ ボットとの 1 対 1 のスペースを開始します。



- スペースの作成後にメッセージを送信すると、手順を示したウェルカム メッセージが届きます。
- デバイス コードを作成する前に、「デモンストレーションの事前設定」の項に示すように、「Webex のデモのセットアップが完了しました (THE Webex DEMO SETUP IS COMPLETE)」という電子メールが Charles Holland のメールボックスに届いていることを確認します。
- デバイス コードを作成するには、`/devices domain` と入力します。ここで、domain は前の手順で取得したドメインです。

```
/devices cbXXX.dc-YY.com
```

- 生成されたコードを使用してデバイスを登録します。
- ルーム デバイスのコードを生成する場合には、`/rd domain,rd name` と入力します。

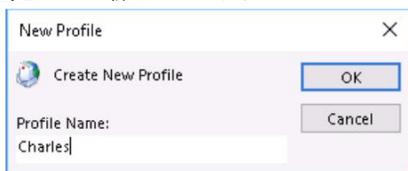
```
/rd cbXXX.dc-YY.com,dCloud Boardroom
```

## デモンストレーション設定のステータス

デモのセットアップを実行するには、いくつかのスクリプトがあります。dCloud のデモは、スクリプトが終了する前にアクティブになります。スクリプトが完了したことを知るには、Charles のメールボックスで完了メールを検索します。

1. まだ接続していない場合は、Cisco AnyConnect を使用して、セッションに VPN 接続します。ログイン クレデンシャルは、dCloud セッションの Web ページ内の [セッションの詳細 (Session Details)] タブで提供されます。
2. Workstation 1 (198.18.1.36) へのリモート デスクトップ接続を行い、ユーザ名: **dcloud\cholland**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
3. タスクバーのアイコン  をクリックして **Microsoft Outlook** を開きます。
4. プロファイル名として **Charles** と入力し、[OK] をクリックします。

図 2. 新しいプロファイル



5. 自動セットアップにより、受信トレイに数件の電子メールが届いているはずですが、続行する前に、[Webex のデモのセットアップが完了しました (THE Webex DEMO SETUP IS COMPLETE)] という件名の電子メールがあることを確認します。それによって、すべてのクラウド サービスのセットアップ スクリプトが正常に実行されたことがわかります。
6. その他のスクリプトは無視して、Outlook を最小化します。

## シナリオ 1: Cisco Webex デスクフォン

このシナリオでは、dCloud Realty のシステム管理者の Charles Holland があるユーザの Cisco Webex デスクフォンを設定し、別のユーザが自分の Cisco Webex デスクフォンを設定します。dCloud Realty は Cisco Webex のトライアル インストールを実行しており、Charles はインフラストラクチャを設定するリード エンジニアです。現在、彼はエンド ユーザのトライアルを開始しようとしています。

**注:** デバイスコードを手早く生成するには、「はじめに」の項で説明したように、dCloud Webex デモ ボットを使用します。ボットを使用すると、シナリオ 1 および 2 のデバイスコードの手動生成手順をスキップできます。

次のユーザについては、すでに Webex メッセージ、会議、および通話が設定されています。

**Charles Holland:** Webex ミーティング、通話、メッセージ

**Anita Perez:** Webex ミーティング、通話、メッセージ

**Taylor Bard:** Webex ミーティング、通話、メッセージ

**Kellie Melby:** Webex ミーティング、通話、メッセージ

**Rebekah Barretta:** Webex ミーティング、通話、メッセージ

**Ricardo Filice:** Webex ミーティング、通話、メッセージ

**Stefan Mauk:** Webex ミーティング、通話、メッセージ

**Eric Steele:** Webex ミーティング、通話、メッセージ

## デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	アクション
1	<p><b>Kellie Melby 用の Webex クラウド登録電話の設定</b></p> <p>最初の手順として、ユーザのアクティベーションコードの生成を行います。</p> <p>Kellie のアカウントを開き、アクティベーションコードを生成します。自分のスマートフォンを使用し、ポップアップ ウィンドウに表示されている QR コードの写真を撮ります。</p> <p>次にこのコードを Cisco IP Phone 7800/8800 のカメラに認識させ、コードを登録します。繰り返になります。これが複雑なタスクを簡単にすばやく実行できる方法です。カメラが搭載されていないタイプの電話機の場合は、ポップアップに表示された 16 桁のコードを入力できます。</p> <p>Kellie はさらに、シスコの自動応答プロセスについてときどき質問して回答を得ます。Kellie は、スピードダイヤルを設定してすでにセットアップされている自動応答に直接ダイヤルできるようにすることを要求しました。</p> <p>新しいボタンを追加しているときに、ボタンを並べ替えるオプションが表示されます。「ハント グループ」ボタンを 6 番目のボタンに移動し、3 番目のボタンをこの新しいスピードダイヤルに置き換えます。</p> <p>追加/並べ替え後:</p> <p>電話が更新されてボタンが整い、すぐに使用できるようになりました。</p> <p><b>注:</b> 6 つのボタンすべてを同時に表示するには、キー拡張モジュールが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のコンピュータの Web ブラウザ (Firefox または Chrome) で <a href="http://admin.webex.com/">http://admin.webex.com/</a> にアクセスします。</li> <li>必要に応じて、<b>cholland@(collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com</b> として、パスワード <b>dCloud123!</b> でサインインします。</li> <li>[ユーザー (Users)] タブをクリックします。</li> <li>ユーザ リストから [Kellie Melby] を選択します。</li> <li>ポップアップ ウィンドウで、[アクティベーションコードの生成 (Generate Activation Code)] をクリックします。dCloud ボットを使用してデバイスを登録した場合は、手動での登録はスキップします。</li> <li>QR コードが表示されたウィンドウが開きます。電話機にカメラが搭載されている場合は、このコードを 7800/8800 電話機のカメラに認識させ、コードを登録します。最も簡単な方法は、スマートフォンでコードの写真を撮影し、その QR コードをシスコ電話機に認識させる方法です。</li> </ul> <p><b>注:</b> 電話機にカメラが搭載されていない場合は、[手動で入力 (Enter Manually)] ボタンを押して 16 桁のコードを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数秒でその電話機が Webex Cloud に登録されます。7800/8800 電話機では、最新バージョンのソフトウェアへのアップグレードが自動的に行われます。アップグレードは延期しないでください。</li> <li>電話機が登録されたら、QR コード ウィンドウの  をクリックします。</li> <li>スピードダイヤルを設定するには、[通話 (Call)] &gt; [電話のボタンのレイアウトとスピードダイヤル (Phone Button Layout &amp; Speed Dials)] をクリックします。</li> <li>省略記号をクリックし、[ボタンの追加 (Add Button)] を選択します。</li> <li>[連絡先名 (Contact Name)]: <b>Auto Attendant</b>、[番号形式 (Number Format)]: [カスタム (Custom)]、[番号 (Number)]: <b>5333</b></li> <li>[保存 (Save)] をクリックします。</li> <li>省略記号ボタンをクリックし、[並べ替え (Reorder)] を選択します。</li> <li>ハント グループ ボタンを 6 番目のスロットに移動し、新しいスピードダイヤルを 3 番目のスロットに移動して、[保存 (Save)] をクリックします。</li> <li>電話が更新され、スピードダイヤルがテストされるのを待ちます。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
2	<p><b>エンド ユーザ セルフケア ポータルで Taylor Bard の電話を登録</b></p> <p>Kellie の電話機のプロビジョニングがうまくいったので、次に Taylor Bard がセルフケア ポータルを使用してこのタスクを実施できるかどうかを確認します。</p> <p>私は事前に Taylor にメッセージを送信し、システムで Taylor のログイン準備が整ったらメールが送信されることを伝えています。</p> <p>Taylor Bard のトーク: こんにちは、dCloud Realty のプロジェクト マネー ジ、Taylor Bard です。Cisco Webex は、プロジェクト コミュニケーションやファイルの管理に優れた ツールだと聞いていたので、早く自分の目で確かめたかったです。</p> <p>Charles が私のアカウントを設定してくれたので、Cisco Webex のログインとサービス設定の準備が整ったことを通知する電子メールが送信されて きました。</p>	<p><b>注:</b> 標準の導入では、QR コード画面で [電子メール (Email)] ボタンをクリックします。ただし、Webex 通話が有効になっている ユーザの場合は、そのまま Webex からユーザに電子メールが送信されます。この手順は、電子メールが直接送信されていることを前提にしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ログイン情報がキャッシュされているため、別の Web ブラウザを開くか、新しいタブをプライベート/匿名モードで開いて、<a href="https://settings.webex.com/">https://settings.webex.com/</a> に移動します。</li> <li>電子メール アドレスとして「tbard@(collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com」と入力し、[次へ (Next)] をクリックします。</li> <li>パスワード <b>dCloud123!</b> を入力します。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
3	<p>Taylor Bard のトーク:</p> <p>ログインしたので、自分の電話機を有効化できます。</p> <p>[個人設定 (Personalize Settings)] セクションに移動し、[マイデバイス (My Devices)] タブをクリックしてアクティベーション コードを生成します。これで QR コードが生成されるので、自分の電話機に認識させ、自動登録することができます。</p> <p>自分のスマートフォンの QR コードの画像を自分の電話機に認識させるとすぐに登録プロセスが開始します。とても簡単です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス利用条件に同意し、[個人設定 (Personalize Settings)] ボタンをクリックして、Taylor の Webex 通話を設定します (dCloud ポットを使用してデバイスを登録した場合は、手動での登録はスキップします)。</li> <li>[マイデバイス (My Devices)] をクリックし、[アクティベーションコードの生成 (Generate Activation Code)] をクリックします。</li> <li>スマートフォンで QR コードの写真を撮影して他のシスコ電話機に認識させるか、16 桁のコードを入力します。QR コードと 16 桁のコードが添付された電子メールが Taylor の受信トレイにすでに存在していることに注意してください。この電子メールは、ユーザの Webex 通話を有効にすると自動的に送信されます。</li> </ul> <p>QR コードを Cisco 7800/8800 に認識させるか、コードを入力してから数秒で、その電話機が Webex クラウドに登録されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機を登録してもポータル ページが更新されず、電話機が表示されない場合があります。更新されない場合は、ブラウザで <a href="https://settings.webex.com">https://settings.webex.com</a> に戻り、[個人設定 (Personalize Settings)] をクリック後、[マイデバイス (My Devices)] をクリックします。電話機が [オンライン (Online)] としてページに表示されます。</li> </ul> <p>セルフケア ポータル ページを開いたままにします。</p>

手順	説明の要点	アクション
4	<p>これで自分の電話機が登録されたので、電話機の設定、短縮ダイヤルなどのオプションをカスタマイズできます。</p> <p>最初に、Kellie や日常的に一緒に仕事する人への短縮ダイヤルを設定します。</p> <p>プライマリ回線での表示名を変更するオプションもあるようです。手順を進めて、それを変更してみます。</p> <p>[応答不可 (Do Not Disturb)], [通話転送 (Call Forward)], [シングルナンバーリーチ (Single Number Reach)], [自動応答 (Auto Answer)] の各オプションを追加で設定できることがわかります。</p> <p>ボイスメールが有効になっていることがわかります。このセルフケア ポータルでは、PIN を簡単に設定できます。その設定後に必要な操作は、ボイスメール ボタンを押してログインすることだけです。ボイスメール システムにログインしたら、音声ガイダンスに従ってボイスメールを設定できます。</p> <p>ボイスメール ボックスにワンタイム暗証番号を使用できる Webex Teams スペースがあることにも気づきました。暗証番号を変更したら、変更の通知を受け取りました。すごい。</p> <p>Kelly から着信しているようですが、会議の時間が迫っているのでボイスメールに転送する必要があります。</p> <p>これで Cisco Webex 通話の設定プロセスが完了です。簡単なプロセスで、すぐに完了できました。Charles には好意的な感想を伝えるつもりです。</p> <div data-bbox="280 1556 776 1787" style="background-color: #e6f2ff; padding: 10px;"> <p><b>価値提案:</b></p> <p>Cisco Webex では、エンドユーザが自分のエンドポイントやコラボレーション サービスを簡単に設定できます。数分ですべての設定は完了し使用可能になります。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [通話設定 (Call Settings)] タブをクリックし、[スピードダイヤルの追加 (Add Speed Dial)] をクリックします。</li> <li>• [連絡先 (Contact Name)] に <b>Kellie</b> と入力し、[番号タイプ (Number Type)] に [カスタム (Custom)] を選択します。</li> <li>• [電話番号 (Phone Number)] に Kellie の内線番号 (<b>5050</b>) を入力し、チェックマーク ボタンをクリックして保存します。Taylor の電話機が更新され、ボタン 5 に Kellie のスピードダイヤルが設定されます。スピードダイヤルを使用して Kellie に電話をかけ、通話を終了します。</li> <li>• [通話設定 (Call Settings)] ページで、[シングルナンバーリーチ (Single Number Reach)] に番号を設定できます。また、[応答不可 (Do Not Disturb)], [通話転送 (Call Forward)], および [自動応答 (Auto Answer)] も設定できます。</li> <li>• Taylor Bard の横のアイコン [  ] をクリックして、回線名を変更します。</li> <li>• [応答不可 (Do Not Disturb)] のトグルをクリックして、応答不可がすぐにオンになることを確認します。応答不可は、画面上部に赤いバナーで示されます。[応答不可 (Do Not Disturb)] をオフにします。</li> <li>• [マイプロフィール (My Profile)] タブ、[  ] ボタンの順にクリックし、[ボイスメールの PIN のリセット (Reset Voicemail PIN)] を選択します。</li> <li>• [新しい PIN (New PIN)] と [ボイスメールの PIN の確認 (Confirm Voicemail PIN)] の両方のボックスに <b>13572468</b> と入力し、[保存 (Save)] をクリックします。</li> <li>• Taylor の電話機でボイスメール ボタン [  ] を押し、PIN として <b>13572468</b> と入力し、シャープ (#) を押します。</li> </ul> <p>次に、ボイスメールを設定します。これは必須ではありませんが、設定後に Kellie の電話からのメッセージを残すことによってテストできます。時間短縮のために、このままガイドを続行して、後でボイスメールの設定を示すこともできます。</p> <p>[ボイスメールから電子メール (Voicemail to Email)] の場合は、ボイスメールを残したあと、OWA (<a href="https://mail1.dcloud.cisco.com/owa">https://mail1.dcloud.cisco.com/owa</a>) に <b>dcloudtbard</b>、パスワード <b>C1sco12345</b> でログインします。添付ファイルを開いて音声を聞きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Taylor の Webex Teams クライアントを表示して、Webex Teams のメッセージを確認します。</li> <li>• 着信をボイスメールに転送するには、Kellie の電話から Taylor にダイヤルし、Taylor の電話で応答します。</li> <li>• 転送ボタン [  ] を押します。</li> </ul> <p>スタート [*] ボタンを押し、Kellie または Taylor の 4 桁の内線番号を押します。通話は数秒以内にユーザのボイスメールに直接転送されます。</p>

## シナリオ 2: Cisco Webex Room デバイス

このシナリオでは、管理者の Charles Holland が Cisco Webex のトライアル導入を続け、Cisco Webex DX/SX/Room Kit/Room 55、70/Board デバイスを登録します。

### デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	アクション
1	<p><b>Cisco Webex Room デバイス</b></p> <p>ルーム デバイスを迅速に作成する場合は、<a href="#">ここで</a>示すとおり、dCloud ポットで /rd コマンドを使用します。</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>Cisco Webex トライアルはこれまでのところ大変うまくいっています。ユーザ設定やエンドポイントの登録はシンプルながら強力です。エンド ユーザはセルフケア ポータルに正常にログインでき、自分のエンドポイントを登録できました。</p> <p>次に自分の VP のテレプレゼンス会議室向けにルーム デバイスを登録します。この作業がうまくいけば、社内での導入をより大規模に進めることを検討できます。</p> <p>管理ポータルに移動し、新しいデバイスとしてルーム デバイスを追加します。ルーム デバイスをリセットした後、ポータルからコードを入力するとすぐにルーム デバイスがすべて登録され、機能するようになります。</p> <p>コラボレーション ユーザのエンドポイントの登録と同様に、ルーム デバイスもすばやく簡単に登録できました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シスコ クラウド コラボレーション管理ポータル (<a href="https://admin.webex.com">https://admin.webex.com</a>)に戻ります。必要に応じて、<b>cholland@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com</b> として、パスワード <b>dCloud123!</b> でログインします。</li> <li>[デバイス (Devices)] タブをクリックします。</li> <li>2 つの電話機がオンラインになっています。[新しいデバイス (New Device)] をクリックします。dCloud ポットを使用してルーム デバイスをすでに登録済みの場合はスキップします。</li> <li>[場所 (Place)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。</li> <li>[場所の追加 (New Place)] を選択し、下部にあるボックスに会議室などの適切な名前を入力し、[次へ (Next)] をクリックします。</li> <li>[その他の Cisco デバイス (Other Cisco Webex Device)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。</li> <li>[Cisco Spark のみ (Free Calling)] を選択したまま、[次へ (Next)] をクリックします。</li> </ul> <p>次に、ルーム デバイス用の 16 桁のコードの画面が表示されます。次の手順は初期設定へのリセットから始めることを推奨します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルーム デバイスの [ようこそ (Welcome)] 画面で、[開始する (Get Started)] をクリックします。</li> <li>必要に応じてセットアップ ウィザードを完了すると、[コールサービスを選択してください (Choose a call service)] 画面が表示されます。[Cisco Webex] を選択します。</li> <li>管理ポータルで示された 16 桁のコードを入力し、[有効化 (Activate)] をクリックします。ホーム画面が表示されるまで、設定を続けます。</li> <li>管理ポータルに戻り、<input checked="" type="checkbox"/> をクリックします。</li> </ul> <p>ルーム デバイスが Cisco Webex に登録されました。登録されたデバイスは、シスコ クラウド コラボレーション管理ポータルの [デバイス (Devices)] ページ (<a href="https://admin.webex.com">https://admin.webex.com</a>) にオンラインとして表示されます。</p>

手順	説明の要点	アクション
2	<p><b>Cisco Webex Room デバイスの管理</b></p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>設定したルーム デバイスはどのユーザにも気に入られています。とても使いやすく、管理しやすいものになっています。</p> <p>1つのエリアで複数のルーム デバイスを設定していますが、ユーザから、間違ったデバイスとペアリングされることがあるという報告があがっています。これはデバイスの超音波スピーカースピーカの音量と関係していると思います。そのため、管理ポータルを使用してルーム デバイスに接続し、超音波スピーカースピーカの音量を下げるつもりです。</p> <p>Webex ではルーム デバイスを簡単に管理できます。必要な操作は、管理するビデオ会議デバイスを選択し、[高度な設定を起動する(Launch Advanced Settings)]をクリックすることだけです。</p> <p>ここからさまざまなオプションを設定できますが、この状況では超音波スピーカースピーカの音量を変更します。</p> <p>その後:</p> <p>ユーザに確認したところ、超音波デバイスの音量を下げたことでペアリングの問題は解決しました。Cisco Webex を使用すると、管理ポータルでデバイスを非常に簡単に管理できるため、とても助かっています。</p>	<p><b>注:</b>この手順を行うには、コンピュータとビデオ会議デバイスが同じネットワーク上にあるか、コンピュータからビデオ会議デバイスにネットワーク経由でアクセスできる必要があります。同じネットワーク上にあり、スプリットトンネリングのため AnyConnect で dCloud に接続している場合は、アクセスできるはずですが、デバイスにアクセスできない場合は、AnyConnect からの切断が必要になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シスコ クラウド コラボレーション管理ポータル (<a href="https://admin.webex.com">https://admin.webex.com</a>)に戻ります。必要に応じて、<b>cholland@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com</b> として、パスワード <b>dCloud123!</b> でログインします。</li> <li>[デバイス(Devices)] タブをクリックします。</li> <li>前の手順で追加したビデオ会議デバイスが表示されます。その<b>ビデオ会議デバイス</b>をクリックします。</li> <li>ポップアップ ウィンドウで一番下までスクロールし、[高度な設定を起動する(Launch Advanced Settings)]をクリックします。</li> <li>[続行(Proceed)] をクリックします。</li> <li>[セットアップ(Setup)] &gt; [設定(Configuration)] の順に移動し、[音声(Audio)] を選択します。</li> <li>[超音波(Ultrasound)] セクションの下で、[最大レベル(MaxLevel)] を <b>50</b> に設定して、[保存(Save)] をクリックします。</li> </ul>

## シナリオ 3: Webex Teams モバイル アプリ

このシナリオでは、Cisco Webex Teams のモバイル アプリケーションをデモンストレーションします。現在の設定をテストする前に、iOS や Android 端末で App Store を開き、Cisco Webex Teams アプリをダウンロードします。すでに Cisco Webex Teams がインストールされている場合は、一度ログアウトします。次の手順では、Webex 通話に登録された電話機とルーム デバイスが示されます。これらが登録されていない場合、別の Cisco Webex Teams クライアント(モバイル、Web、デスクトップ)にログオンすれば、クライアント間で Webex 通話やメッセージ交換ができます。

### デモンストレーションの手順

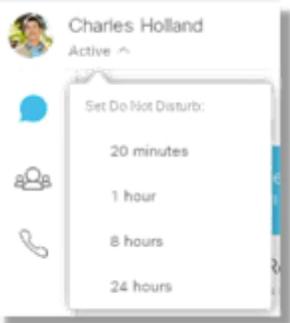
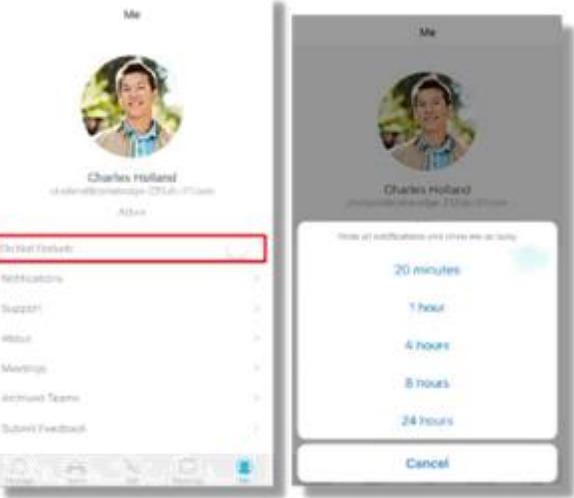
手順	説明の要点	アクション
1	<p><b>Cisco Webex Teams モバイル アプリ</b></p> <p>こんにちは、dCloud Realty のプロジェクト マネージャ、Taylor Bard です。私はモバイル社員なので、どこにいても自分のプロジェクト チームとの接続を保てるのが非常に重要です。</p> <p>Charles Holland から Cisco Webex Teams モバイル アプリを勧められたことは非常によかったです。Cisco Webex の初期導入はうまくいき、すでにプロジェクト チームと一緒に使い始めています。モバイル アプリケーションを追加すると確実に生産性が向上します。</p> <p>自分のスマートフォンで App Store にアクセスし、アプリケーションをダウンロードします。次に、会社の自分のクレデンシャルを使用してサインインします。Cisco Webex はクラウドでホストされているため、VPN セッションをアクティブにすることなく自分のクレデンシャルで安全にサインインできます。</p> <p>Kellie Melby から Webex 通話で電話がかかってきます。私はオフィスに入るところなので、モバイル デバイスで応答します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モバイル デバイスで、Taylor Bard (<code>tbard@collabedge-<b>または</b> cb)XXX.dc-YY.com</code>)として、パスワード <b>dCloud123!</b> で、Cisco Webex Teams にサインインします。</li> <li><b>Kellie</b> の 7800/8800 電話機で、<b>Taylor</b> の 4 桁の内線番号 (<b>5026</b>)をダイヤルします。</li> <li>Cisco Webex Teams アプリで着信を待ちます。表示されたら応答します。Kellie の電話機をミュートして、フィードバックを停止します。</li> </ul>

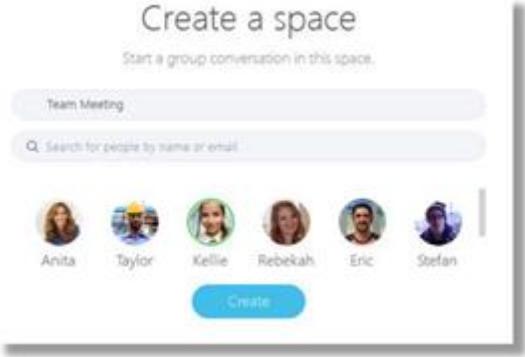
手順	説明の要点	アクション
2	<p>通話が接続され、Kellie と少し会話をします。Cisco Webex Room デバイスを利用して開いている会議室に入りました。通話をルーム デバイスに移動して、大画面で通話できるようにすることにしました。そのために必要な操作は、画面をタップして上にドラッグし、通話を移動することだけです。</p> <p>実にシンプルでした。自分の電話機からこのビデオ会議デバイスの音量をミュートしたり調整したりすることもできます。リモートはもう必要ありません。</p> <p>次に、Kellie が必要としていたドキュメントを取りにオフィスに向かう必要があります。Cisco Webex では、ルーム デバイスからモバイル デバイスに通話を移動して会話を続行できます。</p> <p>Kellie との会話が終わったら、この通話を終了するだけで済みます。</p> <p>通話が終わった後、Cisco Webex Teams アプリケーションの評価を星 5 つにしました。すばらしい製品だからです。</p> <div style="background-color: #e6f2ff; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>価値提案:</b></p> <p><b>Cisco Webex Teams</b> のモバイル アプリを使用すると、ユーザは移動中でも簡単にチームとコミュニケーションを続けられます。Webex 通話やメッセージ サービスを使用することさえできます。Cisco Webex はクラウドでホストされているため、アクティブな VPN 接続を維持していなくてもすべて安全に実現できます。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ルーム デバイスとペアリングされていることを確認します。</li> <li>• 上矢印  をタップして画面の上に向けてドラッグし、通話をモバイルデバイスからルーム デバイスに移動させます。</li> <li>• これで、ルーム デバイスと電話機の間にはビデオ通話が確立されました。モバイル デバイスを使用して通話を管理できます。必要に応じて、この管理のデモンストレーションを行うことができます。</li> <li>• 下矢印  をタップして画面の下に向けてスライドし、モバイル デバイスに通話を戻します。[ <b>Hang up</b> ] をタップすると、ルーム デバイスでの通話を終了できます。</li> <li>•  ボタンをタップしてモバイル デバイスから通話を終了します。よろしければ、通話に 5 つ星評価を付けてください。</li> <li>• 必要に応じて、モバイル アプリから Kellie の 4 桁の内線番号 (<b>5050</b>) にダイヤルして、別の方法をテストすることもできます。</li> </ul> <div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注: この移動通話機能は Cisco Webex Teams デスクトップ クライアントでも利用可能です。これは [移動通話 (Move call)] とアクティブな通話ウィンドウをクリックするだけで使用でき、ルーム デバイスに移動するかデスクトップに戻ります。</p> </div>

## シナリオ 4: Cisco Webex Teams の機能

このシナリオでは、Cisco Webex Teams クライアントの新機能をいくつか説明します。このシナリオでは自分のクライアントを使用することもできますが、手順では Charles と Anita のワークステーションにインストールされたクライアントを使用します。

### デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	アクション
1	<p><b>応答不可のデモンストレーション</b></p> <p>Charles のトーク:</p> <p>Cisco Webex Teams で使用できるすべての新機能が気に入っています。こうした機能の 1 つに応答不可があります。応答不可は Webex Teams アプリケーションで簡単に設定できるため、会議などの重要な時間に邪魔されないようにできます。これから会議に出席するので、今ここで応答不可を設定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webex Teams クライアントを Workstation 1 で開きます (<b>198.18.1.36</b>)。クレデンシャルは <b>dcloud\cholland</b> で、パスワードは <b>C1sco12345</b> です。Charles としてログオンしている間に、ユーザ名の下にあるドロップダウンをクリックし、応答不可に設定する時間を選択します。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>モバイル クライアントを使用してデモンストレーションすることもできます。</li> </ul> 

手順	説明の要点	アクション
2	<p><b>スケジュール済み Webex Meetings のデモンストレーション</b></p> <p>私は Cisco Webex を使用した会議の開催が本当に気に入っています。チームとの臨時会議の開始や、カレンダーにセットできる定期開催のスケジュール済み会議の設定を、すばやくかつ効率的に実行できます。</p> <p>Cisco Webex を使用してチーム会議を設定したいと考えています。今からその設定を行います。まず、Webex Teams スペースを作成してチームを追加します。</p> <p>スペースを作成したら、このスペースと Outlook を使用してスケジュール済み会議を設定します。</p> <p>会議の招待状が表示されると、メッセージ内にすでにリンクが作成されていることがわかります。ユーザはこのリンクをクリックするとすぐに会議に参加できます。また、ビデオ アドレスを取得できるため、必要に応じてビデオ エンドポイントから直接ダイヤルインできます。Webex にはさまざまな接続オプションがあるので、非常に便利です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Workstation 1 で、Charles (ユーザ名: <b>cholland@collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com</b>、パスワード: <b>dCloud123!</b>) として Cisco Webex Teams クライアントを開き、Outlook も開いていることを確認します。</li> <li>[スペース作成 (Create Space)] ボタン [  ] をクリックし、[スペースの作成 (Create a Space)] を選択します。</li> <li>スペースに<b>チーム会議</b>という名前を付けます。</li> <li>Anita とその他数人を追加します。</li> <li>全員を追加したら、[作成 (Create)] をクリックします。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>スペースにメッセージを送信し、全員とのスペースを開始します。</li> <li>アクティビティ メニュー [  ] をクリックし、[会議 (Meetings)] [  ] を選択します。</li> <li>[会議の招待状の作成 (Create Meeting Invite)] をクリックします。</li> <li>Outlook を前面に表示して、会議の招待状が表示されるまで待ちます。</li> <li>開始時間や終了時間を変更したり、定期開催を追加したり、メッセージを追加したりできます。完了したら、[送信 (Send)] をクリックします。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
3	<p><b>Webex Meetings のデモンストレーション</b></p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>会議の時間になったため、カレンダー エントリを開き、その中のリンクを使用して会議に参加します。</p> <p>Cisco Webex Teams アプリケーションが開いて、ボタン 1 つで会議に電話で参加できるのがすばらしいですね。</p> <p>Anita Perez のトーク:</p> <p>チーム会議に参加する時間のようです。Cisco Webex Teams アプリケーションで、Charles がすでに参加していることを確認できます。私も参加します。</p> <p>モバイル クライアントにログインしている別のユーザのトーク:</p> <p>私はアポイントメントがあるため、デスクでチーム会議に参加できません。幸い、Cisco Webex Teams を使用するとどこからでも参加できます。Charles と Anita がすでにスペースに入っているのを確認できるため、Cisco Webex Teams クライアントを使用して、すでに進行中のチーム会議に参加します。</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>モバイル ユーザから背景雑音が聞こえるようです。参加者リストにアクセスしてミュート アイコンをクリックすると、そのユーザの回線を簡単にミュートできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カレンダー エントリを開き、生成された [会議に参加 (Join Meeting)] リンクをクリックします。</li> <li>• まず Web ブラウザでリンクが開き、デスクトップ クライアントがあることが認識されると、Webex Teams デスクトップ クライアントが開きます。</li> <li>• [通話 (Call)] をクリックします。</li> <li>• Workstation 2 に移動して Webex Teams を開き(まだ開いていない場合)、Anita Perez(ユーザ名: <b>aperez@collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com</b>、パスワード: <b>dCloud123!</b>)としてサインインします。</li> </ul> <p>Charles が会議を開始したため、Anita は Webex Teams デスクトップ クライアントで参加通知を受け取ります。スペースにすでに参加しているすべての参加者のアバターが表示されていることもわかります。この場合は、Charles だけが参加しているため、Charles のアバターのみが表示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [参加 (Join)] をクリックします。</li> <li>• モバイル クライアントから、スペース内の他のユーザの 1 人としてログインします。</li> <li>• モバイルの Webex Teams アプリで [参加 (Join)] をタップして、進行中の会議に参加します。会議に Anita と Charles のアバターが表示されていることを確認します。</li> <li>• ミュートを表示するには、携帯電話でミュート解除をタップします。</li> <li>• いずれかのクライアントから参加者リストにアクセスします。表示されていない場合は、アクティビティ メニューをクリックして [ユーザー (People)] を選択します。</li> <li>• モバイル ユーザをミュートします。</li> <li>• 完了したら、すべてのクライアントから通話を切断します。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
4	<p><b>Webex クライアントのホワイトボードのデモンストラーション</b></p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>これまで、ファイルの共有やメッセージの送信などのコラボレーションが可能でしたが、ホワイトボード アクティビティが加わったことで、チームメートとの連携の幅が広がりました。すばやく描画してチーム スペース内で、またはチーム通話中に共有できます。</p> <p>このようにすばやく描画してチーム スペースに掲載し、他のメンバーが必要に応じて編集できるようにします。</p> <p>別のチーム メンバーのトーク:</p> <p>Charles が描画した図をチーム スペースに掲載したことを確認しました。参加してこの図をすぐに編集する必要があります。</p> <p>この別の図を作成しましたが、もう必要ありません。手順を進めて、それを削除します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先ほどスケジュール済みミーティング タスク用に作成したスペースのいずれかのユーザを使用して、いずれかの Cisco Webex Teams クライアントを開きます。</li> <li>スペース内で、[アクティビティ(Activities)] メニューをクリックします。</li> <li>[ホワイトボード(Whiteboard)] [] をクリックします。</li> <li>下部の [新規(New)] をクリックします。</li> <li>ホワイトボードで描画を開始し、終了したら [スナップショットの掲載(Post snapshot)] をクリックして、スナップショットをスペースに送信します。新しいホワイトボードが追加されたことがすべての参加者に通知されます。</li> <li>別のクライアントから、スペース内のスナップショットをタップまたはクリックします。デスクトップ クライアントでは、編集対象のホワイトボードが開きます。モバイル クライアントでは、編集アイコン [] をタップします。</li> <li>そのクライアントで図に編集を加えます。変更内容は自動的に保存され、他のユーザに対する表示がリアルタイムで更新されます。</li> <li>現在のホワイトボードの下部にある [すべてのホワイトボード (All whiteboards)] をタップまたはクリックすると、このスペース内のすべてのホワイトボードを表示できます。[新規(New)] をもう一度タップまたはクリックして、ホワイトボードをさらに作成することもできます。</li> <li>ホワイトボードに移動して、削除する任意のホワイトボードのゴミ箱アイコンをクリックします。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
5	<p><b>モデレータスペースとアナウンススペースのデモンストレーション</b></p> <p>Charles のトーク:</p> <p>このチーム ミーティング スペースをモデレータ ルームとしてセットアップし、アナウンス モードをオンにするつもりです。このようにしてこのスペースを使用し、今後のイベントについてチームに通知できます。今すぐ更新をチームに送信するつもりです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 以前に作成したチーム ミーティング ルームを開きます。</li> <li>• [  ] ボタンをクリックして [モデレータスペース (Moderate space)] オプションを選択し、ポップアップ ウィンドウで [はい (Yes)] をクリックします。</li> <li>• アクティビティ メニューをクリックし、[ユーザー (People)] を選択します。</li> <li>• スペースの唯一のモデレータになったことを確認できます。任意の人を右クリックして、[モデレータとして割り当て (Assign as moderator)] を選択できます。</li> <li>• [  ] ボタンを再度クリックし、[アナウンスモードをオン (Turn on announcement mode)] を選択して、アナウンス スペース モードをオンにします。ポップアップ ウィンドウで [OK] をクリックします。</li> <li>• スペースにアナウンスを送信します。</li> <li>• スペースの参加者の 1 人としてルームを表示し、下部のメッセージを確認します。</li> </ul>

## シナリオ 5: Cisco Webex Board

### Cisco Webex Board: チーム コラボレーション向けのオールインワン デバイス

Cisco Webex Board では、プレゼンテーション、ホワイトボード、ビデオ会議または音声会議、さらには共有コンテンツへの注釈などをワイヤレスで実施できます。チーム コラボレーションに必要なあらゆる機能をワンタッチで使用できます。Cisco Webex Teams アプリを使用すれば、任意のデバイスで仮想チーム メンバーと接続することができます。

Cisco Webex Board の主な機能は次のとおりです。

- **ユーザ本位の設計**: 使いやすい、タッチベースの高品質なコラボレーション エクスペリエンスが得られます。Cisco Webex Board によって、物理的な会議室でのチーム コラボレーションに必要な一般的なツールが、1 つの洗練されたデバイスに統合されます。
- **アプリを通じて仮想チームを接続**: Webex Board で作成した物はすべてクラウドに保存し、仮想ルームに関連付けることができます。Cisco Webex Teams アプリを使用すれば、チーム メンバーはどこにいても、物理的な会議室で中断した所から作業を再開することができます。
- **ニーズをインテリジェントに予測**: Webex Board は、ユーザが会議室に入ると自動的に起動します。Webex Teams アプリがサポートされているデバイスを検出し、通話やホワイトボード、またはプレゼンテーションをワイヤレスで共有するなどのアクティビティが提案されます。
- **自然なエクスペリエンスのためのテクノロジー**: 強力な 4K カメラによって、会議室のほぼ全体が、高解像度の広角イメージとしてキャプチャされます。12 個のマイク アレイによって音声が明瞭になり、自動的に増幅と変調がなされるため、会議の参加者全員の声が聞きやすくなります。

このシナリオでは、どのデモ ユーザでも Cisco Webex Board を使用できます。使用する Webex Board は、ほとんどの場合 Cisco Webex サービスに接続されています。接続されていない場合は、その他のルーム デバイスの場合と同様に Webex Board を追加します ([シナリオ 2](#) を参照)。Webex Board は、このデモで設定した Webex 組織と同じ組織に接続する必要はありません。

## デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	アクション
1	<p><b>Webex Board での通話(ローカル)</b></p> <p>デモ ユーザの 1 人のトーク:</p> <p>当社に新しい Webex Board が導入されましたが、素晴らしいです。設定がとても簡単で使いやすい製品です。多くの機能を追加設定なしでローカルで使用できます。</p> <p>これから Rebekah に電話します。</p> <p>このビデオは素晴らしいですね。</p> <p>通話中に自分が見えるように、自分のビデオ映像を固定表示します。Rebekah は、私が会議室のどこにいても私の声が聞こえると言っています。優れたマイクを搭載していますね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子メール アドレス: <b>rbarretta@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com</b>、パスワード: <b>dCloud123!</b> を使用して、Rebekah としてモバイル アプリまたはデスクトップ アプリから Cisco Webex Teams にログオンします。</li> </ul> <p><b>通話</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Webex Board をタップしてメイン画面を表示します。[通話 (Call)]、[ホワイトボード (Whiteboard)]、[画面の共有 (Share screen)] の 3 つのオプションがあります。ホーム画面に戻るには、ディスプレイ下部の中央にあるホーム ボタンをタップします。</li> <li>[通話 (Call)] をタップします。</li> <li>Webex Board から、Rebekah の URI (<b>rbarretta</b>) に発信するか、<b>username@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com</b> という形式を使用して Webex Teams クライアントにログインしている別のユーザに発信して、Webex Teams クライアントで応答します。フィードバック(ハウリング)を排除するために両側を必ずミュートしてください。</li> <li>Webex Board には、音声やビデオのミュート、音量の変更、通話の終了の各オプションが表示されています。これらのオプションが表示されていない場合は、画面をタップします。また、Webex Board の下部から上部にスワイプすると、音量コントロールにアクセスできます。</li> <li>通話中は自分のビデオ映像が表示されなくなることに注意してください。この映像を固定表示するには、画面をタップして自分のビデオ映像をタップし、[セルフビューの固定表示 (Pin selfview)] をタップします。内蔵 4K カメラでカバーできるアングルの広さに注目してください。</li> <li>複数人でマイクの品質をテストできる場合は、Webex Teams アプリのユーザを 1 人以上退室させて、Webex Board でそのユーザと会話を続けます。スペースに余裕があれば、Webex Board の周りを歩きながら会話を続けます。12 個のマイク アレイが内蔵されているため、退室したユーザに会議室内のどこからでも音声がクリアに伝わります。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
2	<p><b>1対1の通話中における Webex Board ホワイトボード機能の使用</b></p> <p>通話中に、自分の考えを描画で Rebekah と共有したいと思っていました。Webex Board のホワイトボードにアクセスすると、これを簡単に実現できます。</p> <p>描画の開始時に [リアルタイム共有 (Share live)] をタップすると、Rebekah が描画内容を確認できるようになります。</p> <p>Rebekah のトーク: このホワイトボード機能はとても便利です。描画内容を正確にリアルタイムで確認できます。また、私も描画に参加できます。この Webex 機能はとても素晴らしいですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通話中にホーム ボタンを押して、[ホワイトボード (Whiteboard)] をタップします。</li> <li>ホワイトボードで描画を開始し、画面右下にある [リアルタイム共有 (Share live)] ボタンをタップします。</li> <li>Webex Teams クライアントでホワイトボードがリアルタイムに表示され、変更内容をすぐに確認できます。クライアントで編集を行うには、編集ボタン  をタップまたはクリックします。[共有の停止 (Stop sharing)] をタップすると、いつでも共有を停止できます。</li> <li>通話を終了します。</li> <li>画面上部の中央にある名前をタップすると、Webex Board の SIP アドレスや設定を表示できます。また、このメニューから Webex Board を再起動することもできます。</li> </ul>
3	<p><b>Webex Board でのローカルの画面共有</b></p> <p>HDMI ケーブルを使用するかワイヤレスで画面を共有することもできます。これは会議室での会議中に非常に役立ちます。会議室にいる全員とデスクトップを簡単に共有できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI ケーブルがある場合は、まずそのケーブルを使用して画面共有をテストできます。HDMI ポートは、ディスプレイ下部の中央付近の背面にあります。</li> <li>HDMI でテストしたら、ケーブルを取り外して Cisco Webex Teams デスクトップ クライアントを開き、クライアントの右上にある [ワイヤレス共有 (Wireless Sharing)] ボタン  をクリックします。</li> <li>ドロップダウン リストで Webex Board が選択されていることを確認し、[画面共有 (Screen Share)] をクリックします。</li> <li>共有する画面またはアプリケーションを選択します。</li> <li>しばらくすると画面共有が開始されます。画面の共有は、デスクトップ画面上部にある  をクリックするか、Webex Board をタップして [共有の停止 (Stop sharing)] をタップすると終了できます。ただし、次のセクションのために画面の共有は維持してください。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
4	<p><b>Webex Board ホワイトボード機能(ローカル)</b></p> <p>この Webex Board はホワイトボード機能が優れています。会議室に入ったからホワイトボードを起動して、使い始めることができます。</p> <p>図を描画して、さらにもう 1 つ描画します。これは特に会議中に役立ちますね。ローカルで作成したホワイトボードを削除することもできます。1 つずつクリックして削除するか、一度にすべて削除することができます。</p> <p>後で使用するためにホワイトボードを保持しておく必要がある場合には、それを保存しておくこともできます。[スペース作成(Create Space)] をタップすると、Webex Teams クライアントに新しいスペースが表示されます。これはアドホック会議に非常に便利な機能となります。</p> <p>また、Webex Board がスリープ状態になるか、ホーム ボタンを長押しすると、ローカルのホワイトボードが消去されます。チームと共有したいので、今は消去しません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ホーム画面から、[ホワイトボード(Whiteboard)] アイコンをタップします。</li> <li>• 画面下部に示されている色を使用して描画を開始します。さまざまな色とともに、すべてクリアする機能を持つ消しゴムも用意されています。Webex Board ペンや指で描画します。また、2 本の線を同時に引くこともできます。</li> <li>• 最初のホワイトボードでの描画を終えたら、その描画はそのままにして、画面左下にある [新しいホワイトボード(New whiteboard)] をタップします。</li> <li>• この新しいホワイトボードで別の図を描画します。</li> <li>• 描画を終えたら、[すべてのホワイトボード(All whiteboards)] をタップします。これで、ローカルのすべてのホワイトボードが表示されます。</li> <li>• 画面右下にある [選択(Select)] をタップして、すべてまたは一部のホワイトボードを削除できます。</li> <li>• 各ホワイトボードの右下に円が表示されます。いずれかのホワイトボードをタップすると、この円の中にチェックマークが表示されます。いずれかのホワイトボードにチェックマークを付けたら、画面左下にある [削除(Delete)] オプションをタップして選択したホワイトボードを削除できます。<u>今は削除しないでください。</u></li> <li>• 作成したいいずれかのホワイトボードを開き、[作業を保存(Save your work)] をタップします。</li> <li>• Webex Board で相手となるユーザが 1 人以上いることを確認し、[スペース作成(Create Space)] をタップします。</li> <li>• Webex Teams クライアントで作成された新しいスペースを表示します。</li> <li>• ホーム ボタンの上に指を置いて、スリープ プロセスを開始します。開始されたら、Webex Board 画面をタップして取り消します。ホワイトボードに戻り、すべてのホワイトボードを再度表示します。</li> <li>• ホーム画面に移動し、下部の [このスペースを閉じる(Close this Space)] をタップします。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
5	<p><b>Webex Board ホワイトボード機能(ローカル)</b></p> <p>この Webex Board はホワイトボード機能が優れています。会議室に入ったらホワイトボードを起動して、使い始めることができます。</p> <p>図を描画して、さらにもう 1 つ描画します。これは特に会議中に役立ちますね。ローカルで作成したホワイトボードを削除することもできます。1 つずつクリックして削除するか、一度にすべて削除することができます。</p> <p>また、Webex Board がスリープ状態になるか、ホーム ボタンを長押しすると、ローカルのホワイトボードが消去されます。チームと共有したいので、今は消去しません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面から、[ホワイトボード(Whiteboard)] アイコンをタップします。</li> <li>画面下部に示されている色を使用して描画を開始します。さまざまな色とともに、すべてクリアする機能を持つ消しゴムも用意されています。Webex Board ペンや指で描画します。また、2 本の線を同時に引くこともできます。</li> <li>最初のホワイトボードでの描画を終えたら、その描画はそのままにして、画面左下にある [新しいホワイトボード(New whiteboard)] をタップします。</li> <li>この新しいホワイトボードで別の図を描画します。</li> <li>描画を終えたら、[すべてのホワイトボード(All whiteboards)] をタップします。これで、ローカルのすべてのホワイトボードが表示されます。</li> <li>画面右下にある [選択(Select)] をタップして、すべてまたは一部のホワイトボードを削除できます。</li> <li>各ホワイトボードの右下に円が表示されます。いずれかのホワイトボードをタップすると、この円の中にチェックマークが表示されます。いずれかのホワイトボードにチェックマークを付けたら、画面左下にある [削除(Delete)] オプションをタップして選択したホワイトボードを削除できます。<u>今は削除しないでください。</u></li> <li>ホーム ボタンの上に指を置いて、スリープ プロセスを開始します。開始されたら、Webex Board 画面をタップして取り消します。ホワイトボードに戻り、すべてのホワイトボードを再度表示します。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
6	<p><b>ローカルのホワイトボードをスペースに保存</b></p> <p>会議中にホワイトボードを作成しているときに、会議室にいる全員との Webex Teams スペースを作成してホワイトボードを共有したいと思います。</p> <p>[Webex に保存 (Save to Webex)] ボタンをタップすると、このローカル ホワイトボードを Webex Teams スペースに保存することもできます。</p> <p>全員が会議室にあるこの Webex Board とペアリングされていることを確認できます。</p> <p>[スペース作成 (Create Space)] をタップすると、会議室にいる全員に、ホワイトボードで作成した新しいスペースが表示されます。</p> <p>これで、全員が自分のクライアントでリアルタイムに編集できるようになりました。私は引き続き Webex Board で編集できます。</p> <p>この Webex Board はすばらしい製品ですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 可能であれば、複数のクライアントを Webex Board とペアリングします。</li> <li>• [すべてのホワイトボード (All whiteboards)] に移動して、[選択 (Select)] をタップします。</li> <li>• 各ホワイトボードの下にある円をタップして、[Webex に保存 (Save to Webex)] をタップします。または、ホワイトボードを 1 つ開いて [Webex に保存 (Save to Webex)] をタップします。</li> <li>• 複数のユーザがペアリングされたら、それらのユーザがリストに表示されます。</li> <li>• [スペース作成 (Create Space)] をタップします。</li> <li>• ペアリングされたクライアントのいずれかに移動して、ホワイトボードで作成したスペースを確認します。</li> <li>• いずれかのクライアントまたは Webex Board から引き続きホワイトボードを編集できます。</li> </ul> <p>次の手順の準備:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Webex Board のホーム画面に移動して、[このスペースを閉じる (Close this space)] をタップします。</li> <li>• [ホワイトボード (Whiteboard)] をもう一度タップします。少なくとも 1 つのホワイトボードがあることを確認します。ない場合は、ホワイトボードを 1 つ以上作成して次の手順に進みます。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
7	<p><b>Webex Board でのホワイトボードの移動</b></p> <p>これらのすばらしいローカル ホワイトボードをチームと共有したいと思います。そのために、モバイル デバイスで Webex Teams を使用してスペースに接続したいと考えています。</p> <p>まず、チームと開始したこのスペースを開き、アクティビティメニューを使用してこのスペースを Webex Board で開きます。</p> <p>すべての新しいオプションが表示されるため、接続されていることがすぐにわかります。また、画面の左上にスペースの名前が表示され、画面上部の中央にあった Webex Board の名前が削除されました。</p> <p>ホワイトボードに戻ります。</p> <p>それだけで、Webex スペースにすべてのローカル ホワイトボードを移動するように求められます。[すべてのホワイトボードの移動 (Move all whiteboards)] をタップします。実にシンプルでした。</p> <p>Webex Teams クライアントの別のユーザのトーク: すばらしい図です。チーム内で共有できてありがたいです。</p> <p>ここに表示されている内容について電話で話し合うこともできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションの前に、新しいスペースをセットアップし、ドキュメント、プレゼンテーション、および写真など複数のファイル タイプを追加します。スペースを作成したら、スペースにいくつかのデモ ユーザを追加します。</li> <li>少なくとも 2 台の他のクライアントで Webex Teams を開きます。1 台は Webex Board とペアリングし、もう 1 台はリモート ユーザとして使用します。これでデモを実行する準備が整いました。</li> <li>Webex Board のすべてのホワイトボードに戻ります。1 つ以上のホワイトボードがすでに作成されていることを確認します。</li> <li>いずれかの Webex Teams クライアントで、Webex Board とペアリングし、Webex Board ボットで作成したスペースを開きます。</li> <li>アクティビティメニューを開き、メニューの下部にある [Webex Board で開く (Open on Webex Board)] を選択します。このオプションは、Webex Board とペアリングされている場合に使用できます。</li> </ul> <p>接続されると、画面のアイコンが増えることに注目してください。また、スペース名が画面の左上に表示され、中央にあった Webex Board 名が表示されなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[ホワイトボード (Whiteboard)] をタップします。</li> <li>[すべてのホワイトボードの移動 (Move all whiteboards)] をタップします。Webex Board のローカルで作成したすべてのホワイトボードが表示されます。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
8	<p><b>Webex Board での通話と会議中におけるホワイトボードの使用</b></p> <p>Webex Board ユーザのトーク:</p> <p>このスペースに接続されているため、会議を簡単に開始できます。必要な操作は、[通話(Call)] ボタンをタップし、[ビデオ通話(Video Call)] ボタンをタップして、通話を開始することだけです。</p> <p>それだけで会議が開始されました。</p> <p>リモート ユーザのトーク:</p> <p>Webex Teams クライアントで、会議が進行中であることがわかります。必要な操作は、[参加(Join)] ボタンをタップすることだけです。</p> <p>電話番号をダイヤルしたり会議番号を入力したりする必要がなかったのが、すばらしいですね。会議にすぐに参加できました。Webex を使用すると簡単で助かります。</p> <p>Webex Board ユーザのトーク:</p> <p>全員が接続したので、このホワイトボードを開いて全員とリアルタイムで共有できます。</p> <p>全員が必要に応じて変更を加えることもできます。</p> <p>リモート ユーザのトーク:</p> <p>これが素晴らしいのは、Webex Board でホワイトボードをリアルタイムに見ることができるということです。編集ボタンをクリックして自分で変更を加えることもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面で [通話(Call)] をタップします。キーボードで番号をダイヤルせずに、そのまま緑色の通話ボタンを押して発信します。</li> <li>[ビデオ通話(Video Call)] ボタンをタップしてスペースにダイヤル インし、会議を開始します。</li> </ul> <p>このスペースに接続されている他の Webex Teams クライアントで、会議への参加通知を受け取ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 つ以上のクライアントで、[参加(Join)] を選択して会議に参加します。</li> <li>すべてのクライアントが参加したら、いずれかのホワイトボードを開き、[リアルタイム共有(Share live)] をタップします。</li> <li>いずれかのリモート Webex Teams クライアントで、編集ボタン [  ] をタップまたはクリックして変更を加えます。</li> <li>Webex Board で [共有の停止(Stop sharing)] をタップします。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
9	<p><b>Webex Board での通話と会議中におけるファイルの使用</b></p> <p>Webex Board ユーザのトーク:</p> <p>チームで取り組んでいるこの PowerPoint を表示することもできます。[ファイル (Files)] に移動してそのファイルを開きます。</p> <p>各スライドについてチーム メンバーと電話で話し合えるようになりました。すばらしいですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面で [ファイル (Files)] をタップします。</li> <li>ボットによってスペースにさまざまなタイプのファイルが追加されています。PowerPoint などのいずれかのファイルを開きます。</li> <li>PowerPoint、Word doc、または PDF を開いた場合は、画面の右側にあるスライド ビューアを使用してスライドやページを進めることができます。スライドやページで指を上下にスライドさせると、スライドやページを変更できます。画面をタップして画面右下にある  アイコンをタップすると、スライド ビューを非表示にしたり再表示したりすることができます。</li> <li>また、2 本の指をドラッグして広げると、ズームできます。ズームは写真などの他のアイテムで使用できます。さまざまなタイプのファイルを開き終えたら、デモンストレーションを続行します。</li> </ul>

## シナリオ 6: Cisco Webex の通話機能

このシナリオでは、Taylor と Kellie の電話機で、Cisco Webex で利用可能な通話機能(自動応答、ハント グループ、コール パーク、ページング グループ、割り込みとプライバシー、およびコール ピックアップ)をデモンストレーションします。以下の手順では、このセッションでスクリプトと一括プロビジョニング用 CSV を使用してすでに設定してあるこれらの機能を使用します。dCloud Realty では、電話に対応するためのヘルプ デスクをオンサイトに配置しています。

### デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	アクション
1	<p><b>通話機能の設定の確認と更新</b></p> <p>セットアップ中にスクリプトで作成した通話機能の設定を任意で変更できます。この現在の設定では、Taylor と Kellie がすべての通話機能に属しています。</p> <p>これらのオプションの変更はデモンストレーション前に行う必要があります。</p> <p>これらの機能の設定方法を確認するには、Webex イネーブルメント ラボを参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウド コラボレーション管理ポータル (<a href="https://admin.webex.com">https://admin.webex.com</a>)を開き、Charles としてログインします。</li> <li>[サービス (Services)] &gt; [通話 (Call)] &gt; [機能 (Features)] に移動します。</li> <li>デモンストレーションで使用するすべてのパイロット番号を確認できます。これらの番号はデモンストレーションの手順にも示されます。</li> <li>機能に変更を加えるには、[編集 (Edit)] ボタン [  ] をクリックします。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
2	<p><b>自動応答</b></p> <p>お客様のトーク:</p> <p>dCloud Realty に電話して、購入しようとしている家の詳細情報を入手できるかどうかを確認する必要があります。</p> <p>電話番号は知っているので、ダイヤルしてサポートの 3 を押します。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>お電話ありがとうございます、dCloud Realty でございます。Kellie がご用件を承ります。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>Ricardo と申します。Evergreen Valley で見た邸宅の情報がほしいのですが。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>かしこまりました。当社のエージェント、Taylor が対応させていただきます。ただ今おつなぎいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デモでは PSTN にアクセスできないため、いずれかの Webex Teams クライアントにデモ ユーザの 1 人としてログインする必要があります。このようにして、自動応答(5333)に割り当てられた市内番号をダイヤルできます。また、いずれかのデスク フォンまたは 3 台目のデスク フォン(利用可能な場合)を使用できます。</li> <li>• 「お客様」としてログインしたら、5333 をダイヤルします。</li> <li>• 3 を押してサポートに発信します。これにより、スクリプトで設定されたハント グループのデモンストレーションが行われます。</li> <li>• Kellie の電話機で応答します。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
3	<p><b>コール パークとページング</b></p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>Taylor は Evergreen Valley 地域に詳しいため、この通話への対応に最適なエージェントです。この通話をパーク保留してから、ピックアップするように Taylor にページングします。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>お客様が回線 **** でパーク保留中であるという Kellie のページングを聞きました。その番号をダイヤルして、お客様との通話を続行できるようにします。</p> <p>お待たせいたしました、お客様。Taylor がご用件を承ります。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>Taylor さん、123 Evergreen Lane にある邸宅の詳細情報がほしいのですが。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>かしこまりました(情報を提供して通話を続行し、終わったら通話を終了します)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通話中に、画面下部にある黒色のメニュー ボタンのいずれかを押し、[通話リスト(Call List)] のソフトキーを押します。</li> <li>[コールパーク(Call Park)] のソフトキーを押して、通話に割り当てられている電話番号をメモします。</li> <li>ページング グループ番号(5555)をダイヤルし、番号 **** (パーク保留されたときの番号)でパーク保留中の通話に回答するように Taylor にページングします。</li> <li>Taylor の電話機で、パーク保留中の通話の DN をダイヤルします。</li> <li>会話を続けて、終わったら通話を終了します。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
4	<p><b>割り込みとプライバシー</b></p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>お問い合わせいただいた邸宅を内見できる時間について電話でお客様にお伝えし、その他のご質問があるかどうかを確認します。</p> <p>お世話になっております、dCloud Realty の Kellie です。お問い合わせいただいた邸宅を内見できる時間についてお電話いたしました。今週土曜日の 8 時、11 時、3 時にご案内できますが、ご都合はいかがでしょうか。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>Kellie さん、11 時が一番都合が良いです。それから、邸宅周辺について質問があります。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>かしこまりました。Taylor がその地域に詳しく、ちょうどこちらに参りましたので、この通話に加わってお客様のご質問にお答えできるかどうか確認してみます。Taylor、お客様とのこの通話に加わって、ご質問に対応してもらえますか。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>もちろん。共有回線を使用しているようなので、通話に割り込みますね。Kellie、通話が表示されないの、プライバシーをオフにしてもらえますか。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>ごめんなさい。通話に参加できるようにプライバシーをオフにしますね。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>通話が表示されたので参加します。お客様、Taylor です。ご質問にお答えいたします。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>邸宅周辺について詳しく聞かせてください(会話を続けて、終わったら通話を終了します)。</p>	<p>モバイル クライアントに「お客様」としてログイン中に、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Kellie の電話機の [プライベート (Private)] ボタンが緑色になっていることを確認します。</li> <li>• Kellie の電話機で共有回線 (5150) を選択し、モバイル クライアントのユーザの DN をダイヤルします。</li> <li>• Taylor を通話に招待したら、Kellie の電話機のプライバシーを解除する前に、Taylor の電話機で共有回線をクリックします。</li> <li>• 共有回線を押した後、画面にアクティブな通話が表示されないことを確認します。</li> <li>• Kellie の電話機の [プライバシー (Privacy)] ボタンを押して、ライトを消します。</li> <li>• Taylor の電話機に通話が表示されたことを確認します。これで通話に参加できます。</li> <li>• 発信者情報の横にある赤いボタンを押して通話に参加します。</li> <li>• 会話を続けて、終わったら通話を終了します。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
5	<p><b>コールピックアップ</b> クライアントから Taylor と Kellie に直接電話がかかってくる場合があります。2 人は同じオフィスで働いているため、コールピックアップ機能が設定されています。これにより、いずれかの電話機に直接着信があったときに、そのユーザが席を外していた場合は、もう 1 人のユーザが自分の席を離れることなく代わりに電話に対応できます。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>Taylor の回線に電話がかかっているようですが、Taylor は少しの間席を外しています。Taylor は、クライアントから重要な電話がかかってくるのを待っているため、直通回線に着信があったら代わりに対応してほしいと言っていました。</p> <p>着信への対応:</p> <p>お電話ありがとうございます、dCloud Realty でございます。Kellie がご用件を承ります。</p> <p>クライアントのトーク:</p> <p>もしもし Kellie、John Smith です。今後のアポイントについて Taylor と話すために電話しました。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>はい、Taylor は社内におりますが少し席を外しているため、私が伝言を賜るよう言付かっています。少々お待ちください、Taylor が戻ってくるようです。Taylor に代わります。</p> <p>Taylor、John Smith さんからお電話です。通話を**** でパーク保留しています。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>ありがとう、Kellie。今すぐピックアップします。</p> <p>必要に応じて、Taylor と John の会話を続けます。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>Cisco Webex に移行したため、ワークフローがとてもシンプルで使いやすいものになりました。Webex は素晴らしいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• モバイル クライアントを使用して、Taylor の直通回線 (5026) にクライアントとして発信します。</li> <li>• Taylor の電話機では応答せずに、代わりに Kellie の電話機で [ピックアップ(Pickup)] ソフトキーを使用します。</li> <li>• 通話中に、画面下部にある黒色のメニュー ボタンのいずれかを押し、[通話リスト(Call List)] のソフトキーを押します。</li> <li>• [コールパーク(Call Park)] のソフトキーを押して、通話に割り当てられている電話番号をメモします。</li> <li>• Taylor の電話機で、パーク保留中の通話の DN をダイヤルします。</li> <li>• 会話を続けて、終わったら通話を終了します。</li> </ul>

## シナリオ 7: Cisco Care

このシナリオでは、Cisco Care をデモンストレーションします。以下の手順では、このセッションでスクリプトと一括プロビジョニング用 CSV を使用してすでに設定してあるユーザを使用して、これらの機能を設定します。dCloud Realty では、チャットと電話に対応するためのヘルプ デスクをオンサイトに配置しています。

Cisco Care は、外部または内部のお客様をサポートするヘルプ デスクや小規模チーム向けのデジタル カスタマー ケア ソリューションです。コンテキストに応じた継続的かつ機能豊富なカスタマー ジャーニーを提供するカスタマー ケア チームをサポートすることで、接続されたデジタル エクスペリエンスを実現します。

15 分の設定で、Cisco Care を Web サイトに組み込んで、チャット サービスやコールバック サービスを提供することができます。Cisco Care には、カスタマー ケア ユーザのワークスペースとカスタマー フィードバックを示す統合レポートが含まれているため、ヘルプ デスクの生産性と効率が向上します。

Cisco Care は、統合管理とエンタープライズ クラスのセキュリティを備えた Cisco Webex カスタマー ジャーニー プラットフォームの一部としてシスコが提供するものです。

主な特長は次のとおりです。

- Cisco Webex への非常に簡単なアドオン (Webex Control Hub インターフェイスで数回クリックするだけで済みます)
- Cisco Webex メッセージにより有効になった Web チャット
- Cisco Webex 通話により有効になったコールバック
- お客様の Web ページに組み込むカスタマイズ可能なチャットおよびコールバック
- 受信した連絡先のリアルタイム キュー情報
- お客様の ID、コンテキスト、およびインタラクション履歴への組み込みアクセス (カスタマー エクスペリエンスを向上させるための知識をエージェントに提供)
- Cisco Webex クラウド プラットフォームによって実現するセキュリティ侵害のないエンドツーエンドの暗号化
- クラウド コラボレーション管理で表示できるエージェント、チーム、および顧客満足度の統合レポート (カラー コーディングで応答所要時間が長すぎたケースを特定)

## デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	アクション
1	<p><b>仮想アシスタントを使用した Cisco Care チャットのデモンストレーション</b></p> <p>お客様のトーク:</p> <p>dCloud Realty の Web サイトを見ていて、この物件に関する詳細な情報が欲しいと思いました。</p> <p>ブラウズ後にこのポップアップ バブルが表示され、チャット機能があることに気づきました。この機能を使用して、今すぐチャットできるかどうかを確認します。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>お客様の入力: この物件を見たいと思います。 VA の応答: 物件の住所はどこですか?</p> <p>お客様: 123 Sequiota Park と表示されています。</p> <p>VA の応答: 物件をご覧いただく最もご都合の良い時間はいつですか?</p> <p>お客様の入力: 今週のいつでもだいじょうぶです。</p> <p>VA: わかりました。必要としている情報はすべてです。ここからご案内する担当者にお繋ぎいたします。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>「お客様名」が物件の見学を希望しておられます。 [受け入れ (Accept)] をクリックして対応します。</p> <p>Rebekah の入力: お待たせいたしました。お問い合わせありがとうございます。123 Sequiota Park の物件は、今週いつでも見学していただくことができます。水曜日の午後 3 時ですとご都合はいかがですか?</p> <p>お客様の入力: それでお願いします。</p> <p>Rebekah の入力: わかりました。それで手配いたします。さらにお尋ねになりたいことはありますか?</p> <p>お客様と Rebekah は、すべての手はずが整うまでチャットを続けます。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>これらの詳細をメモに記録して、「<b>showing (内覧)</b>」というタグを付けて、後で簡単に見つけられるようにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカル ラップトップで、最新バージョンの Chrome や Firefox などの Webex 通話対応ブラウザを使用してエージェント ポータル (<a href="https://care.ciscospark.com/">https://care.ciscospark.com/</a>) を開き、Rebekah (ユーザ名: rbarretta@collabedge- または cb) <b>XXX.dc-YY.com</b>、パスワード: dCloud123!) としてログインします。</li> <li>別のブラウザまたはタブで、dCloud Realty の Web サイト <a href="https://adfs.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com/dCloud/webex/index.html">https://adfs.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com/dCloud/webex/index.html</a> を開きます。</li> <li>プロアクティブ チャット バブルが表示されるまで 30 秒待ちます。表示されたら、[今すぐチャット (Chat Now)] をクリックしてチャットを開始します。</li> <li>フォームに必要事項を入力し、[チャットの開始 (Start Chat)] をクリックします。</li> <li>まず、仮想アシスタントに接続します。VA とカジュアルなチャットをするか、またはすぐにデモに取りかかることができます。デモでは「内覧希望」または「このアパートの情報を希望」などと入力できます。そうするとアシスタントは、エージェントの Rebekah にエスカレーションする前にいくつか追加の質問を尋ねてきます。</li> <li>エージェント ポータルで [受け入れ (Accept)] をクリックし、チャットを開始します。</li> <li>お客様と Rebekah のチャットを続けます。チャット中にメモやタグも追加します。</li> <li>チャットが終わったら、どちらの側からでもチャットを終了できます。</li> <li>チャット セッションが終了したら、お客様はチャットトランスクリプトをローカルに保存できます。また、お客様はカスタマー エクスペリエンスに関するフィードバックを求められます。そのトランスクリプトを保存すると .pdf ファイルが作成されます。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
2	<p><b>Cisco Care のチャットをビデオ通話にエスカレーションするデモンストレーション</b></p> <p>デモ中にお客様とチャットしているときにはいつでもビデオ通話に移行し、ソフトウェアをインストールせずにチャットからビデオに移行することがどれほど簡単であるかを示すことができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Chrome や Firefox などの、サポートされるブラウザを使用します。</li> <li>• Rebekah とのチャット受け入れ後いつでも [ビデオ通話 (Video Call)] ボタン  をクリックして、ビデオ通話にエスカレーションできます。</li> <li>• お使いのブラウザで、マイクとカメラへのアクセスが許可されていることを確認します。</li> <li>• 通話を開始したら、お客様側で通話を受け入れてマイク/カメラへのアクセスを許可します。</li> <li>• ビデオ越しに会話を続けます。</li> </ul>
3	<p>Cisco Care では、Context Service を使用してカスタマー ジャーニーを表示できます。同じお客様情報でチャットに再接続し、Cisco Care でお客様がどのように認識され、前回のチャットから得たすべての情報がどのように保持されているかをデモンストレーションします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エージェントが以前のお客様からのチャットを受け入れたら、[現在のアクティビティ (Current Activity)] の左側にある [] アイコンをクリックします。 </li> <li>• これで、お客様が Cisco Care エージェントと行ったすべてのアクティビティを表示できます。</li> <li>• チャットまたはコールバックによるアクティビティごとに [説明メモ (Note Description)] を必ず追加してください。メモのタイトルは [Context Service アクティビティ (Context Service Activities)] の下に一覧表示されます。</li> </ul>
4	<p>Cisco Care エージェントのパフォーマンス</p> <p>Cisco Care エージェントの Rebekah がログインすると、Rebekah の写真の右側にグラフ アイコン  が表示されます。</p> <p>このレポート機能を使用してカスタマー ケアのメトリックを確認できます。これにより、自分の優れている点が見えるほか、改善点を目標とすることができます。</p> <p>また、進行中のインタラクションやキューに入っている項目も表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Rebekah がグラフ アイコンをクリックすると、Rebekah が処理したタスク (チャットおよびコールバック) の合計、平均処理時間、および平均顧客満足度を示すレポートを実行できます。</li> <li>• また、Rebekah に進行中のインタラクションがあるかどうかや、キューに入っている項目があるのかも確認できます。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
<p><b>5</b></p>	<p><b>Cisco Care のコールバック</b></p> <p>お客様のトーク:</p> <p>dCloud Realty の Web サイトを見ていて、この家の詳細情報がどうしてもほしいと思いました。コールバック機能が用意されているようです。この機能を使用して、エージェントから折り返し電話をもらえるかどうかを確認します。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>「お客様名」が家の情報を求めています。[受け入れ (Accept)] をクリックして折り返し電話します。お問い合わせいただきありがとうございます。Rebekah と申します。家の情報をお求めのようですが、ご覧になっている特定の家はございますか。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>はい。304 Sycamore Drive にある物件に関心があります。まだ購入できますか。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>はい、大丈夫です。必見ですよ。内見を手配いたしましょうか。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>それはありがたい。</p> <p>お客様と Rebekah は、すべての手はずが整うまで通話を続けます。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>これらの詳細をメモに記録して、「<b>showing (内覧)</b>」というタグを付けて、後で簡単に見つけられるようにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新バージョンの Chrome や Firefox などの Cisco Webex 通話対応ブラウザを使用してエージェント ポータル (<a href="https://care.ciscospark.com/">https://care.ciscospark.com/</a>) を開き、Rebekah (ユーザー名: rbarretta@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com、パスワード: dCloud123!) としてログインします。</li> <li>別のブラウザまたはタブで、dCloud Realty の Web サイト (<a href="https://adfs.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com/dCloud/webex/index.html">https://adfs.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com/dCloud/webex/index.html</a>) を開きます。</li> <li>コールバック バブル  を使用してコールバックを開始します。</li> <li>フォームにお客様名と内線番号を入力します。いずれかの登録電話または Webex Teams クライアントにログインしているデモ ユーザの 4 桁の内線番号を使用します。</li> <li>[コールバックの要求 (Request Callback)] をクリックします。</li> </ul> <p><b>注:</b> デモでは Webex クラウドから PSTN にアクセスできないため、モバイル デバイスの Cisco Webex Teams アプリにログインしているデモ ユーザ、または登録済みの Webex 電話機を持つデモ ユーザの 1 人の 4 桁の内線番号にダイヤルする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エージェント ポータルで [受け入れ (Accept)] をクリックします。</li> <li>お客様と Rebekah の通話を続けます。通話中にメモやタグも追加します。</li> <li>通話が終わったら、どちらの側からでも通話を終了できます。</li> <li>さらに、Context Service のデモンストレーションとして、同じお客様情報でコールバックを使用して再接続し、Cisco Care でお客様がどのように認識され、前回の通話から得たすべての情報がどのように保持されているかをデモンストレーションします。</li> </ul>

手順	説明の要点	アクション
6	<p><b>自動ルーティングのデモンストレーション</b></p> <p>Cisco Care を使用した場合、ピックアップと自動の 2 タイプのコール ルーティングがあります。</p> <p>ピックアップ: エージェントはチャットとコールバック要求のキューから項目を選択できます。</p> <p>自動: Cisco Care は、対応時間が最長のエージェントに、受信チャットとコールバックを自動的にルーティングします。</p> <p>デモのデフォルトは、ピックアップ ルーティングです。自動ルーティングをデモンストレーションする場合は、制御タブ内で設定を変更する必要があります。</p> <p>変更後には、エージェント ポータルからログアウトし、再度ログインする必要があります。</p> <p>対応時間が最長のエージェントをデモンストレーションするためには、2 人のエージェントでログインする必要があります。Rebekah とともに、Monica もエージェントとして設定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動ルーティングを設定するには、Webex Control Hub に管理者の Charles として、<b>cholland@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com</b>、パスワード <b>dCloud123!</b> でログインします。</li> <li>• [サービス (Services)] タブをクリックし、[Care] カード上の [設定 (Settings)] をクリックします。</li> <li>• [ルーティング (Routing)] セクション内で、[自動ルーティング (Automated Routing)] を選択し、[保存 (Save)]、[はい (Yes)] の順にクリックします。</li> <li>• エージェント ポータルからサインアウトします。</li> <li>• Rebekah <b>rbarretta@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com</b> として、パスワード <b>dCloud123!</b> で再びサインインします。</li> <li>• 通話の受け入れを開始するために、Rebekah の名前の下で [待受停止 (Not Ready)] をクリックし、[待受開始 (Ready)] を選択する必要があります。</li> <li>• 対応時間が最長のエージェントへのルーティングをデモンストレーションするには、別のブラウザまたは専用ブラウザで、Monica として、<b>mcheng@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com</b>、パスワード <b>dCloud123!</b> でログインします。</li> <li>• これで上と同じデモ スクリプトを使用するか、新しいものを作成できます。</li> <li>• 両方のエージェントがログインしている場合、Rebekah のみが通知を受け取っていることに気づくでしょう。これは彼女のほうがログイン時間が長いからです。</li> </ul>

## シナリオ 8: Pro Pack for Cisco Webex Control Hub

このシナリオでは、eDiscovery をデモンストレーションします。これは標準オファ어의 Webex に無償で付属しています。ただし標準オファ어では遡って検索できるのは最大で 90 日です。Pro Pack では検索が制限されることはありません。

eDiscovery 検索と抽出ツールを使用すると、Cisco Webex Teams Space 内で情報を検索および取得するために無制限にデータにアクセスできます。電子メール アドレス、スペース ID、キーワード、および特定の期間を使用して検索を絞り込みます。

eDiscovery 検索と抽出ツールを使用すると、Cisco Webex Teams Space 内で情報を検索および取得するために無制限にデータにアクセスできます。電子メール アドレス、スペース ID、キーワード、および特定の期間を使用して検索を絞り込みます。

コンプライアンス担当者として、Cisco Webex Control Hub を使用して Cisco Webex Teams アプリでのすべての会話を検索できます。会社内の特定の人物を探して、その人たちが共有してきたコンテンツを検索し、調査結果のレポートを生成できます。情報を求めて特定のスペースを検索することもできます。

<https://help.webex.com/docs/DOC-21569> [英語] にアクセスして、eDiscovery に関する詳細情報を表示します。これにはコンプライアンス担当者の役割や提供されるレポートに関する情報が含まれています。

## デモンストレーションの手順

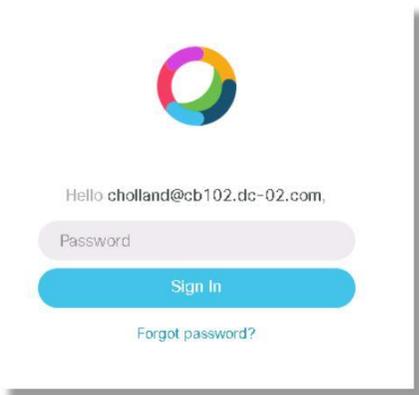
手順	説明の要点	アクション
1	<p><b>eDiscovery 検索と抽出ツールのデモンストレーション</b></p> <p>コンプライアンス オフィサーの Eric のトーク:</p> <p>私は dCloud Realty のコンプライアンス オフィサーです。法務部門により、dCloud Realty の従業員である Stefan Mauk が社外の人物と交わした、Blackbriar と呼ばれる社内プログラムに関する Webex Teams の会話を提出する必要があると通知を受けました。</p> <p>Cisco Webex では、Cisco Webex Control Hub を使用してこのデータを検索できます。</p> <p>まず、自分のアカウントで Webex Control Hub にログインします。</p> <p>法務部門から、検索対象としてキーワード Blackbriar が提示されたので、それを Stefan の電子メール アドレスに突き合わせて検索します。</p> <p>レポートが見つかった後の Eric のトーク:</p> <p>Blackbriar に言及している 1 つのスペースを検出したようです。手順を進めてレポートを生成してダウンロードします。</p> <p>要求に従ってこのレポートを法務部門に引き渡します。それにより法務部門は調査を続行できます。</p> <p>この Cisco Webex eDiscovery 検索および抽出ツールで仕事がとても簡単でした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Eric Steele はすでにコンプライアンス担当者の役割が割り当てられています。<a href="https://admin.webex.com/">https://admin.webex.com/</a> にログインし、<code>esteele@(@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com</code>、パスワード <code>dCloud123!</code> でログインします。</li> <li>最初のボックスに Stefan の電子メール アドレスを入力します (<code>smauk@(@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com</code>)。</li> <li>[メッセージに以下を含む (Where Messages contains)] ボックスに、キーワード <b>Blackbriar</b> を入力します。検索は終了するまでに少し時間がかかります。</li> <li>デモのセットアップにより、このキーワードで検出されるスペースが 1 つあるはずです。</li> <li>[レポート名 (Report Name)] と [説明 (Description)] に関連情報を入力します。</li> <li>名前と説明を入力した後、[レポートの生成 (Generate Report)] をクリックします。</li> <li>レポートを生成したら、[レポートのダウンロード (Download Report)] をクリックします。</li> </ul> <p>法的な理由から、レポートを表示することは許可されない場合があります。ただし、デモの目的ではレポートを表示して、以下の手順を実行してナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これにより JSON 形式のレポートを含む zip ファイルがダウンロードされます。レポートを抽出し、抽出されたフォルダを参照します。</li> <li>このファイルは任意のテキスト エディタで表示できます。レポートは JSON 形式のため、JSON ビューア/フォーマッタを使用してファイルを読みやすくすることをお勧めします。</li> <li>ドキュメント内のワード、<b>Blackbriar</b> を検索します。「<b>メッセージ</b>」を検索して、このスペースで Stefan が送信した各メッセージを表示することもできます。</li> <li>[会話 ID (conversationID)] フィールドには、会話が行われたスペース ID が示されます。</li> <li>組織の外部のユーザと行った会話のため、ユーザ フィールドは <b>ヌル</b> になります。</li> </ul>

## 付録 A: Cisco Webex パスワードのリセット手順

場合によっては、Cisco Webex ユーザ アカウントのパスワードをリセットする必要があります。次に、Charles Holland のパスワードをリセットする手順を示します。

1. Webex Teams Web クライアント(<https://admin.webex.com>)に移動し、電子メール アドレス **cholland@(collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com** を入力します。
2. [次へ(Next)] をクリックします。
3. 次のページが、ドメインの XXX と YY の部分を除き、下の図のようになっていることを確認します。同様であれば、次の手順に進みます。

図 3. 正しいサインイン画面



4. 画面が上のようなサインインのイメージであれば、下部の [パスワードをお忘れですか?(Forgot password?)] リンクをクリックします。
5. リセット方法を示した電子メールが Charles に送信されています。リモート デスクトップを使用して、Workstation 1(198.18.1.36)に接続し、ユーザ名: **dcloud\cholland**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。まだ開いてない場合は、Outlook を開きます。
6. 受信トレイに、件名が [パスワードのリセット(Password Reset)] である電子メールがあります。そのメール内で、[パスワードのリセット(Reset password)] をクリックします。
7. ブラウザのウィンドウが表示されます。「**dCloud123!**」を[新しいパスワード(New Password)] ボックスと [新しいパスワードの確認(Confirm new password)] ボックスに入力します。
8. [保存してサインイン(Save & Sign In)] をクリックします。
9. ブラウザを閉じて、デモを続けます。

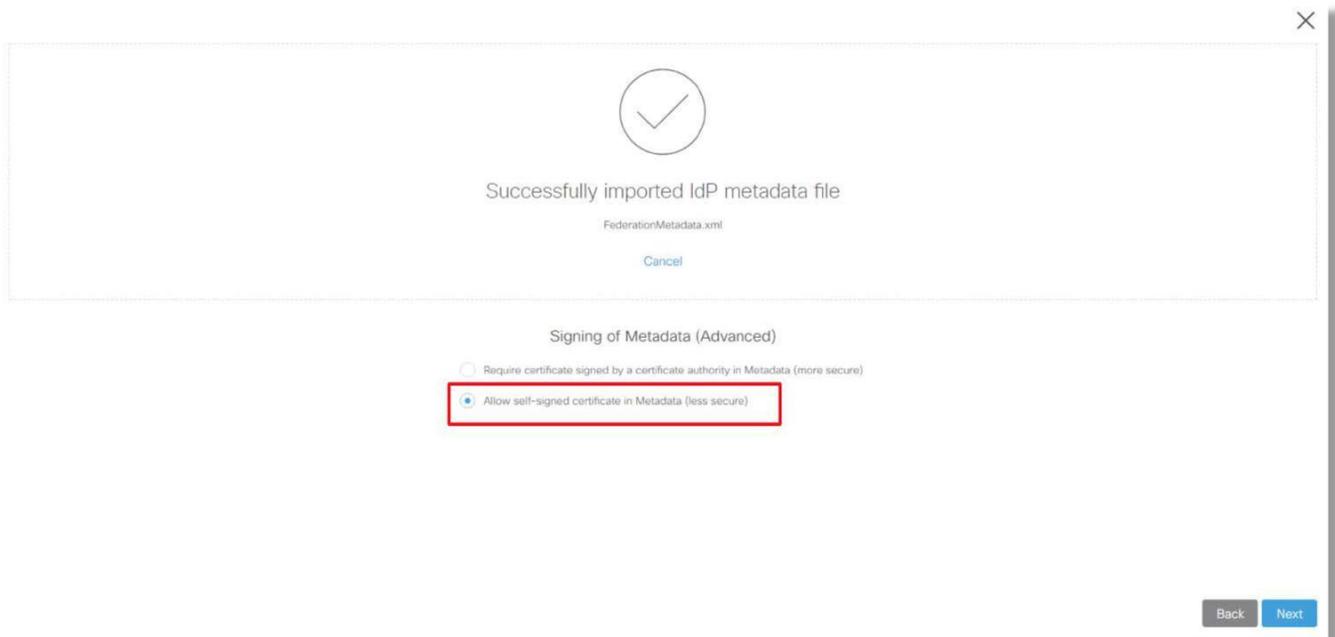
## 付録 B: AD FS によるシングル サインオン(SSO)設定

すべてのユーザは Cisco Webex で提供される基本認証を使用していますが、SSO を使用してデモンストレーションを行うこともできます。SSO を有効にするには、いくつかの手順を実行します。

### シングル サインオン(SSO)設定(オプション)

1. Workstation 1 (198.18.1.36) への接続中に Chrome を開き、ホーム ページから [Cisco Webex リンク(Cisco Webex Links)] > [Cisco Webex Control Hub] の順に移動します。
2. **cholland@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com** として、パスワード **dCloud123!** でサインインします。
3. [サービス利用条件(Terms of Services)] の一番下までスクロールし、[同意する(Accept)] をクリックします。
4. [概要(Overview)] ページで、ページ下部の [ライセンス(Licenses)] カードまでスクロールします。
5. [シングルサインオン(Single Sign-On)] の横にある歯車  をクリックします。
6. [サードパーティの ID プロバイダーを統合(高度)(Integrate a 3rd-party identity provider(Advanced))] オプション ボタンをオンにして、[開始する(Get Started)] をクリックします。
7. [ディレクトリメタデータのエクスポート(Export Directory Metadata)] ページで [次へ(Next)] をクリックします。この手順は事前に完了しています。
8. [ファイルブラウザを使用してください(file browser)] リンクをクリックします。
9. [開く(Open)] ウィンドウで、デスクトップから **FederationMetadata.xml** ファイルを開き、[開く(Open)] をクリックします。
10. [IdP メタデータファイルを正常にインポートしました(Successfully imported IdP metadata file)] 画面が表示されます。

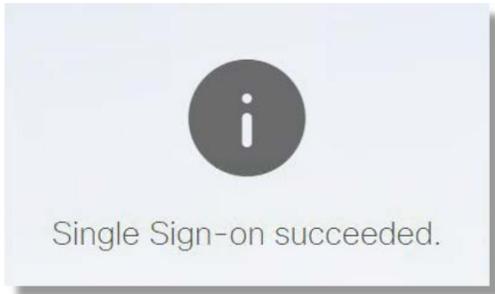
図 4. 正常にインポート



11. **重要:** 自己署名証明書を使用しているため、[メタデータで自己署名証明書を有効にする(低セキュリティ)(Allow self-signed certificate in Metadata(less secure))] オプション ボタンをオンにします。小型のディスプレイを使用している場合は、画面を下にスクロールすることが必要になる可能性があります。
12. [メタデータで自己署名証明書を有効にする(Allow self-signed certificate in Metadata)] オプション ボタンをクリックした**後**、[次へ(Next)] をクリックします。

13. [SSO 接続のテスト(Test SSO Connection)] をクリックします。
14. ブラウザで SSO をテストするための新しいタブが開きます。
15. [詳細設定(ADVANCED)] をクリックして、[続行(Proceed)] リンクをクリックします。ユーザ名: **cholland**、パスワード: **C1sco12345** でサインインします。パスワードの「i」は 1 であり、感嘆符(!)ではないことに注意してください。
16. サインインに成功すると、[シングルサインオンに成功(Single Sign-on succeeded)] というメッセージが表示されます。

図 5. SSO 成功



17. ブラウザ タブを閉じます。
18. テストに成功したら、[SSO 設定のテスト(Test SSO Setup)] 画面で、[テストに成功しました(The test was successful)] オプション ボタンをクリックします。[シングルサインオンの有効化(Enable Single Sign On)] をオンにして、[保存(Save)] をクリックします。
19. SSO が組織で有効になりました。今後、ユーザ パスワードは **C1sco12345** になります。
20. デモンストレーションの前に、管理ポータルからサインアウトし、SSO クレデンシャルを使用して再度ログインします。

**注:** カスタマー組織で SSO が失敗した場合でも、パートナー管理者はパートナー ポータルにログインして、カスタマー組織にアクセスできます。デモではこのアカウントにアクセスできません。お客様管理者でログインできないなどの何らかの理由があれば、SSO を無効にし、**C:\dcloud** にナビゲートして **disable\_sso.ps1** ファイルを右クリックし、[PowerShell で実行(Run with PowerShell)] を選択する必要があります。このスクリプトを実行すると SSO は無効になります。

### AD CA ルート証明書のインストール(オプション。ただし、自分のデバイスで Webex のデモンストレーションを行う場合は必須)

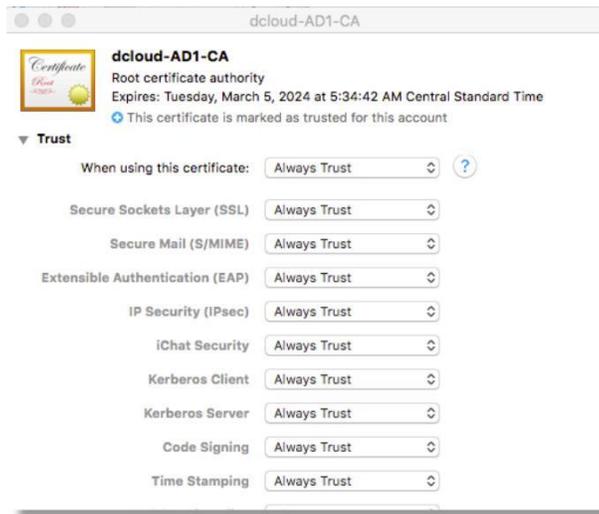
ここでは、AD サーバ用の CA 証明書をデバイスにインストールする方法を示します。Workstation 1 および 2 にはこの証明書がすでにインストールされているため、ワークステーションで Webex を使用する場合はインストールする必要はありません。このラボでは自己署名証明書を使用しているため、この CA 証明書をコンピュータだけでなくモバイル デバイスにもインストールする必要があります(モバイル デバイスでデモンストレーションを行う場合)。インストールしない場合は、ユーザの電子メール アドレスに送信した後、Webex Teams アプリに空白の画面が表示されます。これは 1 度だけ実行する必要があります。ルート証明書をデバイスに一度インストールすれば、以降のすべてのデモで SSO は常に動作します。再インストールが必要になるのは、デバイスからルート証明書を手動で削除した場合のみです。

1. ルート CA 証明書をダウンロードするには、ブラウザを開いて <http://cs.co/ad1cacert> に移動します。

**ad1cacert** ファイルがダウンロードされます。デバイスでこの証明書を開いてインストールします。基本的な手順を以下に示します。

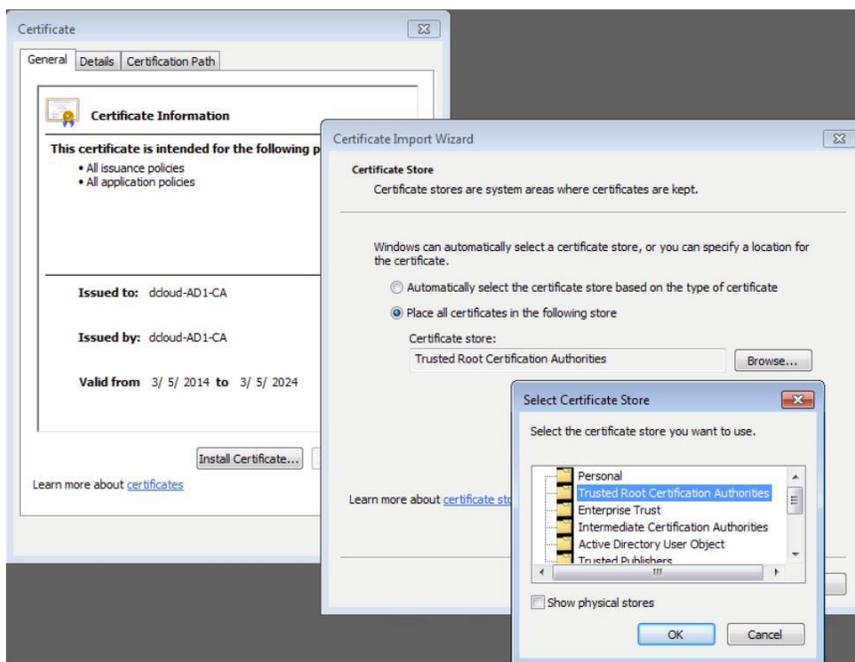
2. Mac の場合は、証明書を開き、[追加(Add)] で**ログイン** キーチェーンに追加します。
  - a. 証明書を追加したら、[キーチェーンアクセス(Keychain Access)] ウィンドウで(ウィンドウが開いていない場合は Keychain Access アプリケーションを開く) **ad1** を検索し、証明書を開いてプロパティを表示させます。
  - b. 証明書が開いたら [信頼(Trust)] を展開し、[この証明書を使用している場合(When using this certificate)] ドロップダウン リスト ボックスを [常に信頼(Always Trust)] に変更します。証明書とキーチェーン アクセスを閉じます。

図 6. AD1 ルート証明書を信頼する



3. Windows の場合は、証明書を開き、[証明書のインストール (Install Certificate)] で [信頼されたルート証明機関 (Trusted Root Certification Authorities)] ストアにインストールします。

図 7. AD1 ルート証明書をインストール



4. iOS の場合は、証明書を電子メールで自分に送信し、デバイス上で開き、画面に従ってインストールします。
5. Android の場合は、拡張子 **.cer** を **.crt** に変更し、証明書を電子メールで自分に送信して、デバイス上で開き、画面に従ってインストールします。

## ラボ ユーザを使用した SSO のテスト(オプション)

このセクションでは、Anita を使用して SSO をテストします。最初に、Anita が Cisco Webex から電子メールを受信しているかどうかを確認します。

1. 自分のコンピュータから別の Web ブラウザを開いて、別のユーザで Webex Teams にログインしている場合はブラウザのキャッシュをクリアします。使用中のブラウザのプライベート/匿名モードを使用することもできます。
2. <https://teams.webex.com> に移動します。
3. 電子メール アドレス `aperez@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com` を入力し、[続行(Continue)] をクリックします。
4. Cisco dCloud SSO ページに移動します。aperez としてパスワード **C1sco12345** でサインインします。
5. 初期設定を行うと、Cisco Webex にログインできます。
6. 組織内の任意のユーザとして、Web、モバイル、デスクトップなど任意の場所からログインしてみてください。パスワードはすべて **C1sco12345** を使用します。
7. 使用する予定の各デモ ユーザを使用して Webex Teams にログインすることが重要です。これにより、各ユーザの Webex サービスがすべて有効になります。

## 付録 C: Directory Connector

自動セットアップ スクリプトによって、すべてのユーザの-avatarをアップロードしている必要があります。ただし、一部が欠落している場合や、ディレクトリを同期してユーザを追加する場合は、Workstation 1 にインストールされている Directory Connector を使用できます。この場合は、完全同期を実行するための設定が必要になります。

### Directory Connector の設定(オプション)

1. Workstation 1 でタスクバーの検索ボックスを使用して **Cisco Directory Connector** を検索します。見つかったらアプリケーション アイ



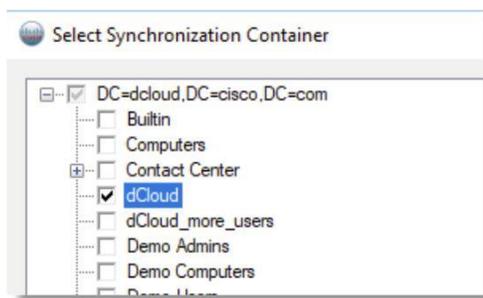
- コン [ ] をクリックします。
2. [Webex にサインイン (Sign in to Webex)] 画面で「**cholland@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com**」と入力し、[次へ (Next)] をクリックします。
3. 次のボックスにパスワードとして「**dCloud123!**」と入力し、[サインイン (Sign In)] をクリックします。
4. [AD DS] オプション ボタンをクリックし、[確認 (Confirm)] をクリックします。

Directory Connector が開いたら、画像 (Avatar) とユーザが同期されるように設定します。

**注:** Directory Connector の詳細については、『[Directory Connector 管理者ガイド](#)』 [英語] をダウンロードして確認してください。

5. [あとで行う (Not Now)] をクリックして、リハーサルを延期します。
6. 上部にある [設定 (Configuration)] タブをクリックします。
7. [オブジェクトの選択 (Object Selection)] タブをクリックすると、同期するユーザを指定できます。  
[オブジェクトの選択 (Object Selection)] ページでは、同期するユーザを選択できます。Directory Connector は、デフォルトではドメインのユーザとグループ全体を同期します。このラボでは、特定の部門 (OU) 内のユーザだけを同期します。
8. [グループ (Groups)] チェックボックスを **オフ** にします。
9. [同期するオンプレミスペースの DN (On Premises Base DN's to Synchronize)] セクションにある [選択 (Select)] ボタンをクリックします。
10. [DC=dcloud,DC=cisco,DC=com] チェックボックスを **オフ** にして、すべてのチェックボックスの選択を解除します。
11. [dCloud] チェックボックスをオンにして、[選択 (Select)] をクリックします (**dCloud コンテナのみを選択してください**)。

図 8. OU の選択



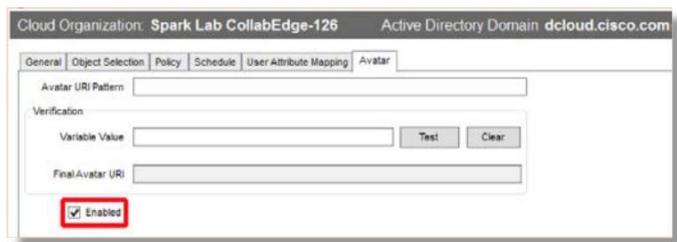
12. クラウド組織名を除いて、[オブジェクトの選択 (Object Selection)] ページが下のスクリーン ショットのようにになります。

図 9. [オブジェクトの選択 (Object Selection)] タブ



13. [アバター (Avatar)] タブをクリックして、[有効 (Enabled)] チェックボックスをオンにします。

図 10. アバターの有効化



14. [アバターの URI パターン (Avatar URI Pattern)] ボックスに次の URI を入力します。

**注:** デスクトップに **Pattern.txt** というテキストドキュメントがあり、そこからパターンをコピーできます。

**http://ad1.dcloud.cisco.com/dCloud/directory/{mail: .\*?(?=@.\*)}.jpg**

これで Directory Connector の設定が完了します。スケジュールや属性マッピングなどその他の設定もありますが、このデモではそれらを設定する必要はありません。次に、設定を適用してユーザを同期します。

15. 画面の最下部にある [適用 (Apply)] をクリックします。

16. ポップアップで、[設定変更の適用 (Apply Config Changes)] をクリックします。

同期のドライランを完了し、適切なユーザが同期されることを確認します。

17. 上部にある [ダッシュボード (Dashboard)] タブをクリックします。

18. [同期のリハーサル (Sync Dry Run)] ボタン [ Sync Dry Run ] をクリックし、[OK] をクリックします。

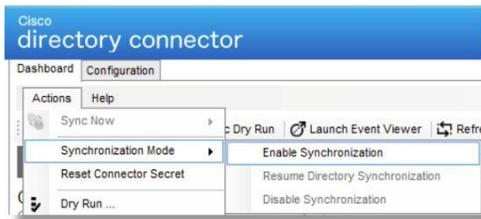
組織に追加される 7 ユーザ [ + 7 Objects Added ] が表示されます。また、一致する 1 つのオブジェクトが Charles Holland のアカウントであることがわかります。これが表示されない場合は、設定をもう一度確認します。

19. [完了 (Done)] をクリックします。

次に同期を有効にします。

20. [アクション(Actions)]メニューをクリックし、[同期モード(Synchronization Mode)] > [同期の有効化(Enable Synchronization)]の順に選択します。

図 11. 同期の有効化



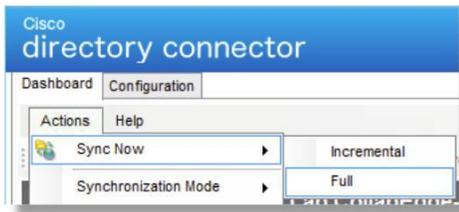
21. すでにドライランを実行しているため、ポップアップで [いいえ(No)] をクリックします。

22. ポップアップで [すぐに有効化(Enable Now)] をクリックして、

同期を有効にします。次に完全同期を行います。

23. [アクション(Actions)]メニューをクリックし、[すぐに同期(Sync Now)] > [完全(Full)]の順に選択します。

図 12. 完全同期



24. ポップアップで [はい(Yes)] をクリックします。

**注:** [現在の同期(Current Synchronization)] セクションで、ユーザの作成とアバターのアップロードの進行状況を確認できます。同期が完了すると、[前回の同期(Last Synchronization)] セクションに **Status** ● **No errors** のようにステータスが表示されます。同期のエラー/警告が表示された場合は、完全同期をやり直してください。エラー/警告を [イベント(Event)] ビューで確認することもできます。それには、Directory Connector の [イベントビューアの起動(Launch Event Viewer)] ボタンをクリックします。次に [アプリケーションとサービスのログ(Applications and Services Logs)] > [Cisco Directory Connector] の順に移動して、すべてのイベントを表示させます。

25. Directory Connector を閉じます。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2018年7月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先